

和仏法律学校講義録

勝本, 勘三郎 / 松井, 茂

(出版者 / Publisher)

和佛法律學校

(巻 / Volume)

3

(号 / Number)

号外の2

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

53

(発行年 / Year)

1901-02-28

和佛法律學校

講義錄

第 參 部

號 外 之 貳

刑

法 各

論 (自二九
至三八二) 法學士 勝本 勘三郎

警

察

法 (自一七五
至一九〇) 法學士 松井 茂

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

090
1900
3-2-2

當セシメ五十圖ノ借用證書ヲ六十圖ト變更セ又ハ無利息ノ證書ニ利息ヲ附キ加フルカ如キ(文書 document ノ性質の又ハ無形の變更ハ通常文字又ハ筆蹟 *Pen-ting* *Script* *Writing* ノ物質的の又ハ有形の變更ナルカ故ニ文書ノ性質的の又ハ無形の變更ハ亦之ヲ文字又ハ筆蹟ノ物質的の又ハ有形の變更トス物自體ノ形狀ヲ變更スルヲ目的トスルニ非スシテ物ノ保有セル性質ヲ變更スルコトヲ目的トスルモノヲ謂フ

(附言) (一) 第一圖ニ於テハ *Contrefaçon*; *Falsification*; *Alteration* 等ノ文字アリテ *contrefaçon* ハ偽造 *Falsification*; *Alteration* ハ變造ニ該當ス而シテ *Falsification*; *Alteration* ハ其ニ何レモ夫ノ *Faule* ナル文字カ通常過失ヲフ意義ニ用ヒラルルニモ拘ラス時トシテハ過失ト犯行トニ論ナク總テ行為者ノ責任ニ歸スヘキ失行ヲフ意義ニモ用ヒラルルコトアルト同シク時トシテハ物質的の變更ニモ性質的の變更ニモ混用セラルレトモ特ニ區別シテ用ヒラルルトキハ *Falsification* ハ性質的の變更ヲ *Alteration* ハ物質的の變更ヲ意味スルカ如シ (二) 予ハ茲ニ變造ノ種類ニ付キ一ヲ物質的の變更他ヲ性質的の變更ト名クタルトモ或ハ又之ヲ

ニスルニ在ルノミ

十二國支條ニ之ヲリトテ已チニ草案ニ對スル筆法ヲ

案ヲ繼承シテ彼ト同一ナル鑒造ヲフ文字ヲ用ヒタルカ故ニ若シ夫レ此種ノ鑒

更ニシテ能ク社會一般ノ公衆ヲ瞞著シ得ルノ程度ニ達シナハ無論變造トスルモノタリト解セサルヘカラスト曰フニ在レハナリ(第三、法文ニ於テ明カニ貨幣ニ付テモ紙幣ニ付テモ共ニ均シク變造ナル文字ヲ使用セル以上ハ少クとも其變更ノ方法ノ或モノハ彼此共通セルモノアルヘク貨幣ト紙幣トノ間彼ニ在リテハ物質的ノモノニ限リ此ニ在リテハ性質的ノモノニ限ルト云フカ如ク同一ノ文字ヲ二様ニ使用スルノ理由ナキト第三、紙幣ニモ貨幣ニモ皆共ニ記額紋章色合及ヒ形狀アリ而シテ凡ソ法文謂フ所ノ紙幣ノ變造ハ性質的變更即チ記額紋章又ハ色合等ノ變更ヲ指スモノタルハ何人モ疑ヲ容レサル所ナリ尤モ或一二ノ學者ハ記額又ハ紋章ノモノ變更ハ變造カレトモ尙ホ之ニ加ヘテ著色ノ變更ヲモ爲シタルトキハ變造ニ非スシテ偽造ナリト云フト雖モ記額ノミ又ハ著色ノミノ變更ハ夫ノ草案ニ掲ケタル所ノ貨幣ノ記額又ハ著色等ヲ變更シタル場合ト同シク依然明カニ舊紙幣タルノ徵表ヲ存スルカ故ニ到底之ヲ以テ變造ト云フヲ得サルノミナラス縱令之ヲ以テ變造トスルモ記額又ハ著色等ノ一種ノ變造ハ變造タルモ二種以上ノ變造ハ偽造タリトハ毫モ證據ナキ決定ナリト

謂ハサルヘカラスト但シ若シ夫レ此決定ニシテ二種以上ノ變更ハ已ニ全ク舊紙幣ノ原體ヲ失ハシメ以テ新ニ工ヲ加ヘタリト看ルコトヲ得ルカ故ニ之ヲ偽造トセサルヘカラストニ在ラハ其ハ後ニモ述フル如ク事實ノ判定上ニ於ケル各自ノ斷定ニ過キサルカ故ニ法律上ノ問題トハ全ク別箇ノモノトス隨テ若シ夫レ之ヲ以テ前ニ掲ケタル所ノ或學者ノ如ク是レ皆偽造ナリ紙幣ニハ變造ナシト曰フ(立法論タルノ點ハ姑ク之ヲ却スルトシラトキハ格別尙モ法文ニ準據シ之ヲ以テ變造ナリトモハ貨幣ニ對スル同一ノ所爲モ亦之ヲ變造ト謂ハスンハアルヘカラスト換言セハ彼此同一ノ所爲ナルニ他ニ在ラハ之ヲ變造トスルモ此ニ在リテハ之ヲ變造トスルヲ得サルノ理由ナキトニ據リテ之ヲ觀レハ貨幣ノ變造ハ物質上ノ變更ハ勿論性質上ノ變更ヲモ亦之ヲ包含スルモノタルヤ炳然火ヲ賭ルカ如シ然ラハ其彼等學者カ或ハ凡ソ實貨ノ變造トハ物質上ノモノノミヲ指スモノナルカ故ニ單ニ性質上ノ變更ノミヲ施シ得ヘキ紙幣ニハ偽造アルモ變造アルコトナシ或ハ貨幣ノ變造トハ單ニ物質上ノ變更ノミヲ指スモノニシテ其性質上ノ變更ハ偽造ナリト主張スルハ大ナル誤ナリ畢竟彼等カ右

ノ如キ謬說ヲ主張スルニ至リタル所以ノモノハ是レ偏ニ(一)或ハ獨國一派ノ學說ヲ取繼キテ我法條ヲ説明セント試ミタルカ(二)若クハ佛國法ノ規定及ヒ其學說並ニ判例ニ眩惑シ之ヲ以テ直チニ我規定ヲ解釋セント欲シタルニ因ラスンハアラス

(附言) (一)獨國一派ノ學說ニ從ヒ寶貨ノ性質の變更ハ偽造ナリトノ說ハ前モ述ヘタルカ如ク我規定ノ解釋論トシテハ總半文ノ價ヲモ有セス唯單ニ立法論トシテノミ些カ論評ノ價アルノミ而シテ立法論トシテ其價值如何ト曰フニ此說ハ寶貨ノ性質の變更ハ畢竟是レ一部ノ偽造ニ過キスト曰フニ在ルモノニシテ固ヨリ誤ニハ非スト雖モ若シ此論法ヲ逐フトキハ物質的ノ變更モ亦一種ノ偽造ナルカ故ニ畢竟寶貨ノ變造ナルモノアルコトナシト曰ハスンハ論理ヲ一貫セサルヘシ是レ此說ノ缺點トス(二)佛國法ノ規定及ヒ其學說並ニ判例ニ依リ紙幣ニハ性質の變更ニ由ル變造アリト雖モ貨幣ニハ之アルコトナシ貨幣ノ性質の變更ハ皆偽造ナリトスル說ハ成程佛國一般ノ學說並ニ判例ニ於テハ論者ノ曰フカ如ク貨幣ノ變造トハ單ニ物質的の變更ニ限ルノ

稱トシ其性質の變更ハ皆之ヲ偽造ナリトセリト雖モ是レ畢竟佛國法ニ於テハ貨幣ノ變造ニハ Altkon ナル文字ヲ紙幣ノ變造ニハ Falsifikation ナル文字ヲ使用セアリテ暗ニ貨幣ハ物質的の變更ニ紙幣ハ性質的の變更ニ限ルコトヲ表白セルカ故ナルカ若クハ佛國法ニ於テハ偽造變造共ニ其刑ヲ同シラスルカ故ニ何レニ屬スルモノトシテ判決セラルルモ被告人ニ於テハ格別利害ノ關係ヲ有セサルカ故ニ之ニ付テ實際議論ヲ生シタルコトナキノ結果深ク其區別ヲ研究セス漫然此一致ヲ見ルニ至リタルモノ(此點ハ夫ノ「ガロー」氏カ其佛國刑法論第三卷第八十九頁下半部ニ於テ偽造變造ノ區別ハ一ハ器械等ニ由ルカ故ニ一時ニ多數ヲ製造スルヲ得ルモ他ハ箇箇ニ工作ヲ施ササルヘカラナルカ故ニ右ノ如クナルコト能ハス云云……佛國ノ立法ニテハ別段之カ區別ヲ揭ケスト雖モ云云トテ其欄外ノ註ニ獨國刑法第一四六條第一四七條及ヒ第一五〇條ヲ紹介シ以テ其區別ノ一例ヲ示セタルヲ見ルモ明カナリ)ニシテ要佛國ノ學說及ヒ判例ハ或ハ疑ナキ明文ニ依ルカ或ハ其區別ヲ意レルモノニシテ佛國ニ於テモ若シ我國ノ如ク偽造變造其刑ヲ異ニスルノ規定アリ

ランニハ或ハ論議ナキヲ保セヌ(此點ニ付テハ現ニ佛國ニ於テ夫レ「ギ」氏ノ我
草案ニ揭ケタルト同一ノ所爲即チ貨幣ノ名價又ハ色合ノミヲ變更スルノ所
爲ハ變造 Alteration ナルヤ否ヤニ付キ久シク學說及ヒ判例ニ於テ議論ノ歧レ
タル末遂ニ變造ニ非ス詐欺取財ノ一種ナリトテ第三百三十四條ノ規定ヲ見ル
ニ至リタルヲ見ルモ思ヒ半ハニ過キン隨テ此ノ如キ薄弱ナル學說又ハ判例
ニ據リテ法律ノ解釋ヲ試ミントスルハ全ク立脚ノ地ヲ缺如セルモノト謂フ
ヘシ

要之以上論述シタル所ニ據リ予輩ハ以爲ラタ

(一) 解釋論トシテハ實貨ノ偽造及ヒ變造ノ區別ハ偏ニ其原料ヲ真正ナル實貨
ニ酌ミタルト否トニ存スルモノニシテ其最モ接點セル所ヲ舉示セハ單ニ程度
ノ區別ニ過キス尙ホ之ヲ詳言スレハ偽造ハ實貨以外ノ物件若ハ一旦實貨ノ
原體換言スレハ實貨カ他物ヨリ區別セラルル要點例ヘハ方圖等ノ形狀ハ勿論
其記號及ヒ紋章等總テ一見實貨ト認ムルコトヲ得ヘキ部分ヲ失ヒタル物件ヲ
材料トシテ新ニ實貨ニ酷肖シタルモノヲ製造スルヲ謂ヒ變造トハ貨幣ノ外賦

ヲ存シテ之カ實價ヲ減殺シ以テ無垢ノ貨幣ト想像セシムル若シハ劣等ノ實貨ニ
鍍金著色其他總テ詐僞ノ工作ヲ施シ以テ原實貨ヨリモ高價ナル實貨ノ外觀ヲ
裝ハシムルモノ即チ真正ノ實貨ヲ利用セテ他ノ實貨ヲ造リ出シタルモノヲ謂
フ隨テ實貨以外ノ物件ヲ材料トシタル偽造ト貨幣ノ實價ヲ減殺シタル變造及
ヒ劣等ノ實貨ニ高價ナル實貨ノ外觀ヲ裝ハシメタル變造中ノ或モノトハ事實
上其間ニ判然タル區別ヲ爲スコトヲ得ヘキモ嘗テ實貨タリシ物件ヲ材料トシ
タル偽造ト劣等ノ實貨ニ其レヨリモ高價ナル實貨ノ外觀ヲ裝ハシメタル變造
ノ或物トノ間ニ於テハ其果シテ實貨ノ原體ヲ失ヒタル材料トシタル法律
上ノ決定カ故ニ偽造トスヘキヤ將タ一ノ實貨ヲ利用シテ他ノ實貨ヲ造リ出シ
タルニ過キサル(法律上ノ決定カ故ニ變造トスヘキヤノ程度ノ上ニ付テ事實上
ノ疑ヲ生スヘシ故ニ若シ夫レ從來大審院等ノ下シタル判定ニシテ偏ニ此事實
上ノ認定如何ニ依リ或ハ之ヲ偽造トシ或ハ之ヲ變造トシタルモノトセハ我輩
ハ之ニ對シテ毫モ間然スル所アルヲ見スト雖モ若シ夫レ之ニ反シテ我刑法
所謂貨幣ノ變造トハ實價ノ減少ニ由ル變造即チ物質的變造ニ限ルモノナリ

トノ見解ニ據リシモノトスレハ些カ一考ヲ煩ハササルヘカラサルモノアラ

(二) 次ニ立法論トシテハ現行刑法ノ規定ハ到底議論ノ淵藪タルヲ免レサルカ故ニ我輩ハ前ニ述ヘタル所ノ種別ニ依リ獨斷其他ノ國ノ刑法ノ如ク二種ノ變造ヲ區別シ以テ一方ニ於テ偽造及ヒ性質上ノ變造ト物質上ノ變造トハ明カニ之ヲ區別事實上スルコトヲ得ルカ故ニ各別ノ規定トシテ各相當ノ刑ヲ科シ他ノ一方ニ於テ偽造ト性質上ノ變造トハ法律上ハ格別事實上之カ區別ニ付テ困難ヲ生スルコトアルヘキカ故ニ寧ロ合シテ一箇ノ規定トシ何レモ同一ノ刑ヲ科スルコトトスルカ若クハ前ニ述ヘタル或學者ノ說ヲ採用シ之ヲ論理的ニ擴張シテ總テ變造ハ一部ノ偽造ナリトスルカ若クハ偽造ト變造トヲ區別セス之ヲ概括シテ贋造トスルカノ一ニ規定スルヲ可トス而シテ我輩ハ此中第三ノ方法ヲ採リ尙ホ一層之ヲ擴張テ贋造ナル文字ノ中ニハ彼ノ今日詐欺取財トセル所ノ變造ニ類スル所爲ハ勿論玩弄紙幣ノ製作ヲモ含ムノ語トシテ下ノ如キ廣闊ナル規定ヲ置カンコトヲ希望ス曰ク内外國ニ通用スル貨幣ノ信用ヲ害スヘ

キ工作ヲ實質又ハ其他ノ物件ニ施シタル者ハ其巧拙ヲ問ハス實贋贋造ノ罪人トシ何年以上何年以下……ニ處ス(我輩カ所謂偽造及ヒ變造ト模造トヲ區別セサル所以ハ此區別モ亦偽造ト變造トノ區別ノ如ク單ニ法理上ノ區別ノミニシテ事實上ニ於テハ往往區別スルコト能ハサルコトアルカ故ナリ)以上偽造變造ノ何物タルヤハ之ヲ詳論シ了レリ仍テ些カ冗長ニ涉ルノ恐アルモ以下尙ホ本論ニ關スル二三ノ外國法ヲ示シ以テ諸君ノ參考ニ資セント欲ス)本論ニ關スル外國法

(一) 佛蘭西刑法第三卷第一編第三章第一節虛偽罪第一貨幣偽造ノ罪

第三百三十二條 佛蘭西ニ於テ法律上ノ流通力アル金銀貨幣ヲ偽造又ハ變造(物質上ノ變造)シタル者ハ……無期徒刑ニ處ス

第三百三十四條 佛蘭西ニ於テ法律上ノ流通力アル貨幣又ハ外國ノ貨幣ニ彩色ヲ施シ以テ其金質ヲ欺ク者ハ……六月以上三年以下ノ禁錮ニ處ス

(注意) 本條ハ我佛文章案第二百十四條ニ記載セル所ノ第三ノ方法ニ依ル變更ニ相當スルモノニシテ其實偽造又ハ變造ト謂フヘキモノニ非ス單ニ詐欺

(三) 獨逸刑法(第二編第八章貨幣ニ關スル重罪輕罪)

第三百四十六條 内外國ノ貨幣又ハ紙幣ヲ偽造シテ真正ノ貨幣又ハ紙幣トシテ使用シ又ハ通用セシメントシタル者又ハ使用若クハ通用セシムルノ目的ヲ以テ真正ナル貨幣ヲ變更シテ其正價ヨリモ高價ナル外觀ヲ與ヘ又ハ通用セサル寶貨ニ通用寶貨ノ外觀ヲ與ヘタル者ハ二年以上ノ徒刑ニ處シ云云因ニ云フ此末文ニ記載セル所爲ハ事ノ狀態ヨリ觀察スルトキハ變造トセサルヘカサルモノナルモ我法律ニ於テハ之カ規定ヲ缺如スルノ結果解釋ニ於テハ之ヲ以テ偽造トセサルノ止ムヘカサルモノアリ刑法改正ノ期ニ臨マハ一考ヲ要スヘキ點トス

第五百十條 全價額ヲ有スルモノトシテ通用セシムルノ目的ヲ以テ通用貨幣ヲ磨キ又ハ之ヲ削リ又ハ其他ノ方法ヲ以テ其銖兩ヲ減少シテ通用セシメタル者ハ禁獄ニ處ス云云

三三 伊太利刑法第二編第四章公ノ信用ヲ害スル罪第一節貨幣及ヒ公ノ信用ニ

關スル證書ノ偽造

第二百五十六條 左ニ記載シタル者ハ三年以上十二年以下ノ懲役ニ處ス

一 國內又ハ國外ニ於テ法律又ハ商業上ノ流通力ヲ有セル內國又ハ外國ノ貨幣ヲ偽造シタル者

二 何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス眞貨幣ニ具有スル價額ヨリモ高價ノ外觀ヲ與ヘ以テ之ヲ變造シタル者

三 貨幣ヲ偽造又ハ變造シタル者又ハ之ニ加工シタル者ト其謀シテ偽造又ハ變造シタル貨幣ヲ國內ニ輸入使用又ハ其他ノ方法ヲ以テ流通ニ置カシムル爲メ他人ニ交付シタル者

若シ偽造又ハ變造カ法律又ハ商業上ニ於テ重大ナル價額ヲ有スル貨幣ニ係ルトキハ五年以上十五年以下ノ懲役ニ處ス

若シ偽造貨幣ノ實價カ眞貨ノ實價ト同一ナルカ又ハ其レヨリモ大ナルト
キハ一年以上十五年以下ノ懲役ニ處ス

(四) 匈牙利刑法(第二編第一章)

第二百三條 真正ナル實貨又ハ全價額ヲ有スル實貨トシテ通用セシムルノ目的ヲ以テ左ニ記載シタル所爲ヲ爲シタル者ハ實貨贋造ノ罪ヲ犯シタル者トス

一 匈牙利又ハ外國ニ於テ通用セル貨幣又ハ紙幣ヲ偽造シ又ハ偽造セシメタル者

二 真正ナル貨幣又ハ紙幣ノ上ニ其價額ヨリモ大ナル價額ヲ有セシムヘキ性質ノ變更ヲ加ヘ又ハ加ヘシメタル者

三 何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス真正ナル匈牙利又ハ外國ノ金銀貨ノ實價ヲ減少シ又ハ減少セシメタル者

前ニ記載シタルト同一ノ目的ヲ以テ廢却シタル實貨ノ上ニ之ヲシテ通用實貨ノ外觀ヲ變ハシムヘキ變更ヲ行ヒ若クハ行ハシメタル者

第二百四條 前條第一號第二號ニ記載シタル場合及ヒ廢却シタル實貨ヲ變更シタル場合ニ於テハ五年以上十年以下ノ徒刑ニ處ス第三號ノ場合ニ於テハ五年以下ノ懲役ニ處ス

(省略劣等ノ貨幣若クハ之ニ代ルヘキ紙幣ニ前條ノ行爲ヲ爲シタル者ハ輕罪トシ六月以上三年以下ノ禁錮ニ處ス)

(五) 和蘭刑法第二編第一〇章貨幣ニ關スル罪

第二百八條 眞實ニシテ贋造セサル貨幣又ハ紙幣ナリトシテ行使シ又ハ行使セシメンカ爲メニ貨幣又ハ紙幣ヲ偽造變造シタル者ハ實貨贋造ノ犯人トシテ九年以下ノ禁錮ニ處ス

第二百十條 行使シ又ハ行使セシムルノ目的ヲ以テ貨幣ノ價額ノ減少シタル者ハ貨幣變造ノ犯人トシテ八年以下ノ禁錮ニ處ス

(六) 支那律

(イ) 唐律 諸私鑄錢者貨幣ノ偽造流三千里作具已備未鑄者徒二年作具未備者杖一百〇若磨錯成錢令薄小取銅以求利者貨幣ノ物質上ノ變更徒一年

(ロ) 明律 凡偽造寶鈔(紙幣)ノ偽造不分首從及竊主若知情行使者皆斬……

〇若將寶鈔挑糊補換描改以眞作僞者紙幣ノ性質上ノ變更杖一百流三千里……凡私鑄銅錢者貨幣ノ偽造絞匠人罪同……〇若將時用銅錢通用ノ貨幣剪

銷薄小取銅以求利者貨幣ノ物質上ノ變更杖一百〇若偽造金銀者貨幣ノ性質上ノ變更ニ類ス杖一百徒三年

(二) 清律 凡私鑄銅錢者貨幣ノ偽造竊匠人罪同……〇若將時用銅錢通用ノ貨幣銷薄小取銅以求利者貨幣ノ物質上變更杖一百〇若偽造金銀者杖一百徒三年

(乙) 輸入 輸入トハ結局或物件ヲ我國土内ニ置クノ目的ヲ以テ外國ヨリ其物件ヲ我國土内ニ運ヒ入ルルコトヲ謂フ(一)結局其物件ヲ我國土内ニ置クノ目的アルヲ要スルカ故ニ他國ニ輸送スルノ目的ヲ以テ一時我國ニ陸上ケスルカ如キハ之ヲ輸入ト謂フヲ得ス(二)外國ヨリ運ヒ入ルルコトヲ要スルカ故ニ我國土内ノ甲地ヨリ乙地ニ運ヒ入ルルカ如キハ亦輸入ニ非ス(三)我國土内ニ運ヒ入ルルコトヲ要スル凡ソ外國ヨリ我國ニ輸送セラルヘキ物件ハ普通税關ヲ經由スヘキモノニシテ外國ヨリ輸送セラルル物件ニ對スル所謂一國國境ハ税關設置線ナリトス故ニ縱令既ニ我領海内ニ運ヒ入ルルモ未タ税關設置線内ニ運ヒ入レサル間ハ未タ以テ輸入既遂ノ所爲アリト謂フヲ得ス然レトモ其茲ニ注意スヘキハ之ヲ以テ彼ノ刑事上ノ所謂一國主權ノ範圍ニ關スル問題ト混同セサルコトヲ要スルコト是ナリ刑事上一國ノ主權ハ其領海ニモ及フモノナルカ故ニ縱令右ノ如キ場合ニ於テモ輸入未遂ノ所爲トシテ之ヲ逮捕スルコトヲ妨ケサルモノトス

(丙) 收受 從來我輩ハ多クノ學者ト共ニ茲ニ收受トハ其字句ニ於テ彼ノ俗語ノ所謂收受ナル文字ヲ轉置シタルニ過キサルト第百九十三條所謂收受ノ文字アル法文ノ原文トモ謂フヘキ佛文草案第一草案第二百二十六條 *Celui qui agit avec une bonne foi* トアリテ佛語ノ *Recevoir* (即チ受取ナル文字ノ使用シアリタルトニ因リ佛語ノ釋語ニシテ其之ヲ受取トセシハ單ニ音讀ノ便ニ依リシモノナリト思料シタルノ結果受取トハ授クル物ヲ受ケテ取ルノ義ナルカ故ニ授ケタ之ヲ受ケシムル者ナキ場合例ヘハ強竊盜拾得遺失物等ノ場合ニハ收受ノ所爲アリト謂フヲ得サルモノト思惟セシカ(一)此收受ナル文字ハ我刑法中僅ニ此所ニミ使用シアリテ他ニ佛語 *Recevoir* ナル文字ヲ受取ト譯シタルノ例ナキト(二)新律網領受賄律ノ以財請求ノ條ニ凡ソ諸人事アリ財ヲ以テ官吏ニ請求

法ヲ枉タルコトヲ得ント欲スル者ハ與フル所ノ財ヲ計ヘ坐贓ニ依テ論ス若シ
難ヲ避ケ易ニ就キ枉タル所ノ罪重キ者ハ重キニ從テ論ス若シ官吏刀證留難イ
ロイロ難題ヲシカケテシテ歸結落着ノコトヲ與ヘス及ヒ強無理ナコトヲ
テ用ヒテ別ニ事ヲ生シ逼抑財ヲ渡セト逼ルコトシテ財ヲ取受スル者ハ錢ヲ
出ス人ハ坐セス若シ以下ハ縱令錢ヲ出スモ強請ニ遇ヒ已ムヲ得スシテ出
タル者ハ無罪ナリトノ但書ナリ又其家人求索ノ條ニ凡ソ監臨官吏ノ家人奴僕
所部内ニ於テ財物ヲ取受シ及ヒ求索スル者云云官吏ノ家人又ハ僕婢等カ主
人ノ威ヲ藉リテ專横ナルコトヲ爲スヲ罰スルノ條而シテ其母法タル清律明律
ニモアリ同一ノ條ノ註解ヲ見ルニ取是因事而取也受是因贈而受也トアリテ取
受トハ受取ノ義ニ非スシテ取リ又ハ受クル義ナルニ依リテ觀レハ新律綱領ニ
於テハ取リ又ハ受クルノ義ナルコト明カナルト三現行刑法ハ其始メ幕氏ノ草
案ニ成リタルモノナルモ其之カ修正ハ多ク新律綱領等支那法系ニ屬スル刑法
ヲ研究シタル人ノ手ニ成リタルモノナルトニ依リテ之ヲ觀レハ茲ニ所謂取受
ナル文字ハ佛語ノ譯語ニ非ス草案修正ノ際委員ニ於テ新律綱領ノ文字ヲ使用

シタルモノニシテ取受トハ取リ又ハ受クルノ義ナルカ故ニ單ニ受取リタル場
合ノミナラス強竊盜拾得遺失物等進テ取ル場合ヲモ亦之ヲ包含スルノ語ナ
ルコト疑ヲ容レス

丁 行使 行使トハ佛文章案所謂 *mis on circulation* 流通ニ置クノ義ナリ單ニ
流通ニ置クト云フトキハ荷モ偽造貨幣ヲ他人ニ交付スルニ於テハ縱令其者ニ
於テ其偽造品タルコトヲ知ル場合ニ於テモ仍ホ之ヲ行使ナリト謂フヲ得ヘキ
カ如キモ貨幣偽造罪ハ信用ヲ害スル罪ナルト後ニモ述フル如ク縱令貨幣ヲ偽
造スルモ行使ノ意思アルニ非サレハ偽造罪即チ害信用罪ヲ構成セザルトニ依
リテ之ヲ觀レハ流通ニ置クトハ他人ヲ欺キ真正ノ貨幣トシテ之カ交付ヲ受ケ
シムルコトヲ意味スルモノニシテ偽造罪ノ共犯ノ一人又ハ偽造貨幣タルノ情
ヲ知ル者ニ交付スルカ如キハ茲ニ所謂行使ニ非サルモノトス

第三ノ要素 犯罪ノ意思アルコトヲ要ス

諸般ノ罪過失又ハ違警罪ニ非サル限りハ皆意思ヲ要ス此事已ニ總則ノ講義ニ於
テ諸君ノ了知セラルル所更ニ説明ヲ要セスト雖モ法律カ犯罪トセザルモノニハ

種種ノ所爲アリテ其之ニ要スル意思ノ狀態亦同シカラス隨テ先ツ明文ニ據リテ各犯罪ノ性質ヲ詳ニシタル後更ニ總則之ヲ總則ノ規定ト照合シタル後ニ非スルハ眞ニ總則所謂犯罪ニハ意思ヲ要ストノ意義ヲ詳ニスルヲ得サルノ結果單ニ總則所謂犯罪ニハ意思ヲ要ストノ觀念ノミニ依リテ各罪ノ意思ヲ定メントスルトキハ往往ニシテ誤ヲ生スルコトアリ本罪ノ如キ特ニ然リトス是レ予カ茲ニ此要素ヲ掲クル所以ナリ法文ヲ案スルニ(一)第百八十二條乃至第百八十五條ニハ偽造又ハ變造シテ行使シタル者(二)第百八十六條以下ノ條ニハ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者又ハ偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ未タ行使セサル者又ハ偽造變造ノ貨幣ヲ輸入シタル者云云トアリ是ニ於テヤ皮相ノ見解ヲ以テスルトキハ第一ノ如ク……行使セタル者トアル所爲ハ行使ノ意思アルニ非サレハ罪ヲ構成セスト雖モ第二ノ如ク行使ニ至ラサル者ヲ罰スルモハ行使ノ意思ナキモ直チニ罪ヲ構成スルカ如キモ(一)一方ニ於テ(一)偽造變造已ニ成リテ未タ行使セサルハ自ラ偽造變造ハ行使ノ意思アルコトヲ表白セルト同時ニ本問偽造變造未タ成ラサル者云云以下ノ所爲ハ其ノ字ヲ以テ之ニ

連接セララルカ故ニ其前者ト同一ノ意思ヲ要スルコト明カナルト(二)第百八十九條第百九十條ニ於テモ偽造變造ノ利ニ同シ又ハ……ノ利ニ照シテ何等ヲ減ストアリテ彼此同性質ノモノナルカ故ニ彼ト同一ノ意思ヲ要スルコトヲ明カニセルノミナラス現ニ第百九十條第二項及ヒ第百九十二條ニハ未タ行使セサル者云云ノ文字アリテ前ニ違ヘタルト同シテ初ヨリ行使ノ意思アルコトヲ要スルコトヲ明カニセルト(ロ)他ノ一方ニ於テ本罪ハ害信用罪ニシテ害信用ヲ結果ハ行使ニ依リテノミ始メテ生スヘキモノタルトニ依リテ之ヲ觀レハ本章規定スル處ノ罪ヲ構成スル爲メニハ何レモ初ヨリ之ニ依リテ公ノ信用ヲ害スヘキ結果ヲ生セシムルノ意思換言スレハ其當然ノ結果トシテ信用ヲ害スルノ行爲タル行使又ハ流通ニ置クノ所爲ヲ自己又ハ他人ヲシテ爲サシムルノ意思アルヲ要スルモノニシテ彼ノ美術研究ノ爲メ貨幣ヲ模擬變更シ又ハ官署ニ届出テ若クハ學術研究ノ爲メ之ヲ輸入收受スルカ如キ單ニ偽造變造輸入收受ノ意思ノミアリテ行使ノ意思ナキモノハ決シテ本罪ヲ構成セサルモノトス(仍テ一言ス(イ)本罪トシテ處罰スル偽造變造ノ所爲及ヒ之ニ類スル詐欺取財ノ所

爲ト無罪タルヘキ模造ノ所爲トノ區別ハ技術ノ巧拙ニ在ラス偽ニ贋造品ヲ行使スル意思ノ存否ニ在リ(ロ)本罪ト其之ニ類スル欺詐取財トノ區別ハ其贋貨カ社會公衆ヲシテ一見精細ナル調査ヲ爲スニ非ズンハ其贋ナリト誤信セシムルノ程度ニ達シタルヤ例ヘハ貨幣ノ形狀ヲモ熟知セサル者ニ對シ又ハ眞貨ヲ辨識スルコトヲ得サル夜陰等ニ乘スルニ非ズンハ以テ容易ニ其貨幣ニ非サルコトヲ認識スルコトヲ得サルモノノ如ク僅ニ常識ナキ者又ハ常識ヲ用フルコトヲ得サル狀況ニ在ル者ノミヲ欺クニ足リ決シテ普通一般ノ人ヲ誤ラシムルコトヲ得ヘキ程度ニ達セサルヤニ存スルモノニシテ簡單ニ之ヲ言ヘハ常識ヲ以テ眞偽ヲ辨スルコトヲ得ルヤ否ヤニ存ス(何ヲ以テ常識トスルヤハ裁判官ノ判斷如何ニ在リ)ルカ故ニ畢竟其區別ハ模擬ニ付テノ技術ノ巧拙如何ニ存スルモノトス

右ニ説明シタル如ク本罪ヲ構成スル爲メニハ其偽造變造タルト輸入收受タルトニ論ナク凡テ其行使ト同時ニ之ニ伴フテ信用ヲ害スル結果ヲ生セシムルノ意思アルヲ要スルカ故ニ彼ノ例ヘハ初メ美術研究ノ爲メ偽造變造シタル物若

ハタ官署ニ届出テ又ハ學術研究ノ爲メ輸入又ハ收受シタル後偶然惡意ヲ生シ之ヲ行使シ又ハ行使セシメタルカ如キハ之ヲ偽造變造又ハ輸入收受シテ行使シタルモノト謂フヲ得ス單ニ偽造變造ノ貨幣ヲ行使シタル所爲後ニ説明スル所ヲ參考スヘシアリト謂フヲ得ルノミニシテ法律ニ明文アルモノヲ除クノ外ハ無罪タラサルヲ得スト確信ス是ニ於テカ更ニ次ノ問題ヲ生ス(イ)自ラ行使シ又ハ他人ヲシテ行使セシムルノ目的ヲ以テ偽造變造又ハ輸入收受シタルモノ其所爲ノ時効又ハ確定判決ヲ經過シタル後ニ之ヲ行使シタル者及ヒ(ロ)他人カ美術研究ノ爲メニ模造變造シタル貨幣ヲ得テ之ヲ行使シタル者ノ處分如何是ナリ

第一問ニ付テ 予ハ嘗テ行使ノ意思ヲ以テシタル偽造變造輸入收受ハ已ニ時効又ハ確定判決ヲ經タリト雖モ其所謂時効又ハ確定判決ナルモノハ偽造變造輸入收受ヲ更ニ若クハ再ヒ獨立ノ一罪トシテ罰スルコトヲ得サルノ效力ヲ有スルノミニシテ後ニ行使セラレタル贋造貨幣カ被告ノ嘗テ惡意ヲ以テ偽造變造輸入收受シタル物ナリトノ事實マデモ消滅セシムルノ力ヲ有ス

ルモノニ非ス此事實ニシテ依然消滅スルコトナクシハ後ノ行使ハ之ト相合
シテ完全ニ罪ヲ構成スルモノナリト決定セシカ今ハ其偏見ナリシヲ自覺セ
リ蓋シテ法ハ自己ノ作製輸入取受シタル物自體ノ行使スル行為ヲ罰スルニ非
スシテ作製輸入取受シテ行使スルヲ關聯シタル一所爲ヲ罰スルモノニシ
テ總令時効又ハ確定判決ハ被告ノ行使シタル物ハ被告ノ作製輸入取受シタ
ル物ナリト云フノ事實ヲ消滅セシムルノ力ナキモ法ハ之ニ據リテ被告カ先ニ
作製輸入取受シタル行為ヲ罰セタルコトセルカ故ニ本問被告ノ所爲ハ其
關聯シタル行為ト謂フヲ得タルカ故ニ偽造變造輸入取受シテ行使シタル罪
ニ該當セサルハ勿論情ヲ知ラスシテ取受シタルノ事實モ亦之アラサルカ故
ニ第九十三條ノ罪ニモ該當セス結局無罪タラサルヲ得サレハナリ

第二問ニ付テ 第二問ハ第一問ト大ニ其趣ヲ異ニスルモノニシテ有罪ト決セ
タルヲ得ス蓋シ被告ノ行使シタル物件ハ惡意ナクシテ他人ノ模造シタルモ
ノタリト雖モ作製ニ付テノ惡意ノ有無ハ單ニ作製者ノ責任ニ變動ヲ生スル

ノミ作製者ヲ離レ物ノミヲ觀察スルトキハ惡意ナクシテ作製セラレタル物
モ惡意アリテ作製セラレタル物モ其物自體ハ常ニ偽造變造ノ實體ヲ具備ス
ルモノニシテ作製者ノ意思如何ハ之ヲ離レテ行使スル者ノ責任ニハ何等ノ
影響ヲ有スヘキ理由ナキカ故ニ偽造又ハ變造貨幣ノ行使者トシテ有罪タル
ヘキヤ疑ヲ容ルルノ餘地ナク前者ノ如ク作製者ヲ行使シタル者トシテ何等
ノ瑕疵アルコトナクシハナリ

終ニ臨ミ尙ホ一言ス凡ソ貨幣ヲ偽造變造スルノ行為タルヤ普通信用ヲ害スル
ノ目的ヲ有スル行為ナルカ故ニ非常ノ情況ハ之ヲ證セサルヘカラス普通ノ情
況ハ之ヲ證スルコトヲ要セストノ證據法ノ原則ニ依リ原告官タル檢察官進ミ
テ被告ニ於テ信用ヲ害スルノ意思アルコトヲ證明スルノ要ナシ其意思ナシト
スル被告ニ於テ却テ之ヲ證明セサルヘカラス隨テ判文ニ於テモ亦普通ノ狀況
ニ異ナル決定ヲ採ル場合ニ於テノミ行使ノ意思ナキコトヲ明言スルノ要アリ
ト雖モ之ニ反シテ單ニ偽造貨幣ヲ輸入取受者トハ行使スルノ行為タルヤ之カ
情ヲ知ルハ非常ノ事ニ屬スルカ故ニ被告ハ其情ヲ知ラサルコトヲ證明スルノ

要ナシ却テ情ヲ知レリト主張スル檢事ニ於テ之ヲ證明セサルヘカラス隨テ之
カ判文ノ體裁モ亦前者ト正ニ反對ニ出テサルヘカラサルモノトス牙勞氏佛國
刑法論第三卷第六〇號)

第二款 處分

近世開明諸國ノ法典ニ於テハ貨幣偽造罪ノ處分ヲ定ムルニ當リ概テ皆一貨幣
ノ性質ニ一貨幣ノ流通力ニ一所爲ノ性質四所爲ノ程度ノ四點ヲ參酌シテ之カ處分
法ヲ加減セリ我草案編纂者諸氏モ亦之ニ倣ヒテ本罪ノ處分ヲ定メタリシカ修
正ノ際第二ノ點ノミハ斥ケラレテ發行ノ内國タルト外國タルトノ區別之ニ代
レリ(佛文第二章案註釋第四六五號)

第一 貨幣ノ性質ニ付テ 法典ヲ按スルニ同一ノ所爲ニ付テ金銀貨及ヒ紙幣
ニ關スルモノハ其處分皆同一ニシテ唯リ銅貨ニ關シテノミ著シク其處分ヲ輕
減セリ(一)金銀貨ニ關スルモノヲ同列ニ置キタルハ其ニ高等貨幣ニシテ實價ニ
大差ナキカ故ニ其偽造變造行使等ノ行爲ニ因リ社會ニ流布スル害惡亦大差ナ

シト云フニ在ラン(二)紙幣ヲ金銀貨ニ準シタルハ其必ス金銀貨ノ命價ニ準シテ
製作セラレ決シテ銅貨ニ準セラルルコトナキカ故ナラン佛文草案註釋第四三
七號參照(三)銅貨ニ關スル所爲ノ金銀貨又ハ紙幣ニ關スルモノヨリモ著シク輕
減セラルル所以ハ銅貨ハ金銀貨又ハ紙幣ニ比セハ其價格甚々微小ナルニモ拘
ラス其製作ノ費用及ヒ勞力ニ於テハ少クトモ徑庭ナキカ故ニ其依リテ犯人ノ
得ヘキ利益彼ノ如ク大ナラサルト同時ニ社會ノ被ル所ノ害モ亦彼ニ比セハ得
堪當ナラサルニ在ラン 一方ニ於テ罪ト刑トノ權衡ヲ重シ他ノ一方ニ於テ裁
判官ノ自由ヲ制限スルノ主義ヲ採用シタル我刑法ノ規定トシテハ區別較々微
細ニ過クト云フノ外格別非難スヘキ點ナカラシ(因ニ云フ我輩ト共ニ伊國及
ヒ米國等ニ行ハルル新學派ノ學說ヲ主張スル者ハ皆此ノ如キ拘子定木のノ規
定ヲ設クルコトヲ非難スト雖モ現今歐米諸國ノ刑法ハ今尙ホ我刑法ト同一ノ
主義ニ依リ同一ノ規定ヲ爲スモノ多數ニシテ此ニ揭クルカ如キ區別ヲ斥ケタ
ルモノ甚々稀ナリ)

第二 所爲ノ性質ニ付テ 法典ハ同一ノ貨幣ニ對スルモ其所爲ノ偽造タルト

變造タルトニ因リテ處分ヲ異ニシ變造ハ偽造ヨリモ幾分ノ輕減ヲ爲セリ草案ノ註釋ニ曰ク偽造ハ全ク新ナル原料ヲ以テ作製スルモノニシテ通常模倣其他ノ器械ニ依ルモノナルカ故ニ一旦之ヲ準備スルトキハ同時ニ多數ノ偽貨ヲ得ヘシ隨テ其危險甚タ大ナリ之ニ反シテ變造ハ真正ナル貨幣ヲ原料トセサルヘカラサルモノニシテ通常箇箇ニ對シテ緻密ナル工作ヲ施ササルヘカラス即チ若シ夫レ眞貨ヲ穿テ其實價ヲ奪ヒ填スルニ他ノ金屬ヲ以テセンカ工巧ナラント欲セハ勞多クシテ利少ク勞少クシテ利多カラント欲セハ工巧ナラサルノ結果容易ニ發見セララルノ虞アリ單ニ實價ヲ減少センカ僅少ナラサレハ發覺ノ虞アリ著色又ハ命價ヲ變更センカ異價ノ貨幣ハ大小各同シカラサルカ故ニ容易ニ一般ノ者ヲ欺クコトヲ得サルノ結果其危險偽造ノ如ク大ナラスト法典ノ理由モ亦之ニ外ナラサラン此理由ハ一般ノ觀察トシテハ(特殊ノ場合ヲ舉タレハ必スシモ草案説明スルカ如クナラサルモ)必スシモ非難スヘキモノニ非ス隨テ罪刑ノ權衡ヲ重スル我刑法ノ規定トシテハ亦已ムヘカラサルノ區別タルヘシト雖モ予カ曩ニ説明シタルカ如ク微細ノ點ニ入ルトキハ偽造ト變造

トノ區別ハ畢竟程度ノ區別ニ過キササルノ結果適用ニ臨ミ甚タ困難ナル問題ヲ生スルコトアルヘキカ故ニ寧ロ之ヲ開放シテ判事ノ自由ニ委スルニ若カス

第三 貨幣發行ノ内外國ニ付テ 第百八十二條ニハ單ニ「內國通用ノ金銀貨」トノミアリテ其內國發行ノモノタルト外國發行ノモノタルトヲ區別セサルカ如キ觀アリト雖モ同シク金銀貨ノ偽造變造ヲ規定シタル第百八十三條ニ於テ特ニ內國ニ通スル外國ノモノノミヲ規定セルト第百八十四條更ニ「內國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス」ト明文アルトニ依リテ之ヲ觀レハ第百八十二條所謂內國通用ノトハ內國通用ノ內國ノ貨幣ニ限ルモノニシテ其同文ヲ用ヒタル第百八十五條ノ銅貨ニ關スル規定モ亦內國ノ貨幣ニ限ルモノトス以上ノ決定ニシテ誤ナカラシカ我輩カ先ニ述ヘタル如ク我立法者ハ發行ノ内外ヲ問ハス總テ其流通力ノ如何ニ依リテ處分ヲ異ニセントシタル草案編纂者ノ主義ヲ斥ケ之ニ代フルニ内外國ノ區別ヲ以テシタルモノトス——貨幣發行ノ内外ニ因リテ處分ヲ異ニシタルハ畢竟之ニ因リテ一箇人ノ被ル所ノ害ハ彼此異同ナキモ外國貨幣ノ信用ヲ失墜スルノ害ハ內國ノ貨幣ニ關スルカ如ク大ナ

ヲスト云フニ在ラン蓋シ進歩シタル今日ノ思想ニ適セタル區別ナリトス

第四 所爲ノ程度ニ付テ 法律ハ貨幣ノ偽造變造ニ關スル諸般ノ所爲ヲ列舉スルト同時ニ罪ト刑トノ權衡ヲ重スルノ主義ニ從ヒ各所爲皆行使ヲ以テ最高度トシ漸次數段ノ階級ニ依リ處分ヲ異ニセリ

(甲) 偽造變造ノ所爲ニ付テ 此所爲ハ便宜ノ爲メ主タルモノト從タルモノトニ分テテ説明スヘシ

(一) 主タルモノ 貨幣偽造變造ノ主タル所爲ニ付テ法律カ階級ヲ設ケテ處分ヲ定ムルモノ左ノ如シ

(イ) 偽造又ハ變造セテ行使シタル場合 (a) 内國ニ合法ノ通用力ヲ有スル内國ノ金銀貨及ヒ紙幣ニ關スルト (b) 内國ニ通用スル外國ノ金銀貨若クハ官許ヲ得テ發行スル外國銀行ノ紙幣ニ關スルト (c) 内國ニ合法ノ通用力ヲ有スル銅貨ニ關スルトニ依リテ處分ヲ異ニス 第一ノ場合ニ於テハ偽造行使ハ無期徒利變造行使ハ輕懲役第二ノ場合ニ於テハ偽造行使ハ有期徒刑變造行使ハ二年以上五年以下ノ重禁錮第三ノ場合ニ於テハ偽造行使ハ輕懲役變造行使ハ

一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス(第一八二條乃至第一八五條説明ヲ須ヒス)

(ロ) 偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル場合 各本刑ニ照シ一等ヲ減ス第一八六條各本刑トハ第八十二條乃至第八十五條ニ規定シタル偽造又ハ變造行使ノ刑ヲ謂フ一等ノ輕減ハ總則ノ適用ニ依リ説明ノ限ニ在ラス法文ニハ未タ行使セサル者トアリテ未タ行使セサルトハ未タ全ク行使ニ著手セサルカ若クハ已ニ行使ニ著手シタルモ行使セスシテ中止シタル場合ノミヲ指シ行使ニ著手シタルモ意外ノ障礙舛錯ニ因リ之ヲ遂タルコト能ハザリシ場合ヲ含マサルカ如キ語氣アルヨリシテ論者或ハ罪刑其權衡ヲ失スルノ嫌アルモ嚴格ナル解釋ヲ重スル刑法ノ解釋トシテハ後段ノ場合ハ總則第一百二十二條第一百十三條ノ規則ニ依ラサルヘカラスト主張スル者アリト雖モ是レ畢竟法文ノ用語ヲ咎ムルモノニモテ正當ノ解釋ニ非ス蓋シ(a)論者モ已ニ之ヲ認ムルカ如ク論者ノ說ハ我刑法ノ主義ニ反シテ罪刑其權衡ヲ失スルト(b)下文其未タ成ラサル者ヲフ文辭ハ結果ニ付テ言セタル語ナルカ故ニ意外ノ障礙

外銷ニ因リテ遂ケサリシ場合ヲモ亦明カニ之ヲ包含スルノ語ニシテ彼ト此トハ規定ヲ異ニセサルヘカラサルノ理由ナキトニ依リテ之ヲ觀レハ法文ノ意ハ決シテ論者ノ解スルカ如クナラサルヤ明カナルノミナラス其未タ行使セサル云云ノ文辭自體モ亦必スシモ未遂犯ノ場合ヲ包含セスト斷言スルコトヲ得ル程ニ正確ナル語辭ニ非サレハナリ

(一) 偽造變造未タ成ラサル場合 各本刑ニ照シ二等ヲ減ス各本刑ト減等ノ事ニ付テハ說述セス其偽造變造未タ成ラサルトハ偽造變造ノ豫備乃至偽造變造ニ著手シタルモ意外ノ障礙舛錯ニ因リテ之ヲ遂ケサル者ヲ包含スルカ如キ語氣アルモ次項直チニ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ著手セサル者ハ各三等ヲ減ストノ規定アリテ偽造ノ豫備ノ最モ大ナル器械ノ豫備ヨリモ輕微ナル其他ノ豫備又ハ變造ノ豫備ヲ重ク罰スヘキノ理由アルヘカラサルニ依リテ之ヲ觀レハ茲ニ其未タ成ラサル者トハ中止ニ因ルト意外ノ障礙舛錯ニ因ルトヲ問ハス總テ偽造又ハ變造ニ著手シタルモ其事ノ未タ成ラサル者ヲ意味スルモノニシテ豫備ノ場合ヲ含マサルモノトス

(二) 偽造ノ器械ヲ豫備シタルニ止マル場合 各三等ヲ減ス各三等トアルハ各本刑ニ照シ三等ヲ減ストノ略文ナリ法文ニハ偽造ノ器械ヲ豫備シタル者トアリテ偽造ノ豫備中器械ヲ豫備シタル者ニ限ルカ故ニ偽造ノ豫備ハ勿論變造ノ豫備ト雖モ器械ノ豫備以外ノモノ例ヘハ金塊ヲ買入レ賣本ヲ蒐メ工場ヲ造ルカ如キハ此規定以外トス尙ホ注意スヘキハ偽造ノ器械トアルカ故ニ例ヘハ模型印刷器ノ如キ貨幣ノ偽造ニ固有ノモノタルヲ要ス廣ク他ノ所爲ニモ用ヒラルヘキ有合ノ器具ハ此中ニ入ラス

(三) 從タルモノ 貨幣ノ偽造變造ノ從タル所爲ニ付テ法律カ特ニ處分ヲ定ムルモノ左ノ如シ

(天) 偽造變造ノ完成以前ニ關スルモノ

(イ) 偽造變造ノ情ヲ知リテ雇ヲ受ケタル職工及ヒ其補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者 第百八十七條ニ曰ク「貨幣ヲ偽造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス若シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減スト」即

ナ法律ハ第八十二條乃至第八十六條ニ照シ主タル犯人ノ受クヘキ刑ニ照シ職工ニ對シテハ一等ヲ減シ其補助ヲ爲シタル者ニ對シテハ二等ヲ減シテ處斷スト規定セリ故ニ例ヘハ第八十二條ノ貨幣ニ關スル場合ニ主タル犯人ニ於テ偽造行使ノ所爲アルトキハ職工ハ無期徒刑第一八二條ヨリ一等ヲ減シテ有期徒刑ニ其補助ヲ爲シタル者ハ有期徒刑ヨリ一等又ハ二等ヲ減シテ重懲役又ハ輕懲役ニ處シ偽造已ニ成リテ未タ行使セサルトキハ職工ハ無期徒刑第一八二條ヨリ一等ヲ減シタル有期徒刑第一八六條ヨリ一等ヲ減シテ重懲役ニ其補助ヲ爲シタル者ハ重懲役ヨリ一等又ハ二等ヲ減シテ輕懲役又ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ偽造未タ成ラサルトキハ職工ハ無期徒刑第一八二條ヨリ二等ヲ減シタル重懲役第一八六條ヨリ一等ヲ減シテ輕懲役ニ其補助ヲ爲シタル者ハ輕懲役ヨリ一等又ハ二等ヲ減シテ二年以上五年以下又ハ一年六月以上三年九月以下ノ重禁錮ニ處シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ著手セサルトキハ職工ハ無期徒刑第一八二條ヨリ三等ヲ減シタル輕懲役第一八六條第二項ヨリ一等ヲ減シテ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ其

補助ヲ爲シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ヨリ一等又ハ二等ヲ減シテ一年六月以上三年九月以下又ハ一年以上二年六月以下ノ重禁錮ニ處スルカ如シ疑ナキ問題ナリ然ルニ彼ノ或學者カ職工ハ自身貨幣ノ偽造變造ニ從事シタルモノニシテ畢竟貨幣偽造變造ノ所爲ノ正犯ナルカ故ニ貨幣偽造變造ノ刑ニ處スヘキモノナルモ本ト他人ヨリ些少ノ勞銀ヲ受ケテ之ニ從事シタル者ナルカ故ニ情ニ於テ原諒スヘキモノアルヲ以テ法律ハ之ニ一等ノ輕減ヲ與フルコトトシタルナリ故ニ職工ノ處分ハ雇主ノ行爲ニ拘ラス獨立シテ常ニ自ラ其正犯トシテ從事シタル行爲ニ對スル刑即チ貨幣ヲ偽造變造シテ未タ行使セサル者ノ刑ヨリ一等ヲ減スヘキモノニシテ之ヲ雇入レテ偽造變造セシメタル雇主ノ刑ヲ標準トシテ減等スヘキモノニ非ス蓋シ若シ夫レ然ランカ他人ノ所爲ニ因リテ其刑罰ヲ輕重セラルルノ結果ヲ生スレハナリト主張スルカ如キハ(一)第八十七條ニ所謂數條トハ明カニ第八十二條乃至第八十六條ヲ指シモノタルノ法文ニ反スルノミナラス(二)貨幣偽造ノ所爲力罰セラルルハ信用ヲ害スル行使ノ意思アルカ故ニ又職工ノ所爲力罪ト

爲ルハ素ト行使ノ意思アル者ヲ補助シタルカ故ニシテ雇主ノ所爲ト職工ノ所爲トハ原因結果ノ關係ヲ有スルモノナルカ故ニ純理上職工ノ處分ハ雇主ノ處分ト相伴ハサルヘカラサルノ理由アルヲ忘却シタルモノニシテ探ルニ足ラサル誤見タリ

法文ニハ「雇ヲ受ケタル職工」アルカ故ニ職工トシテ雇主ノ家ニ雇入レラレタル者ニ限ルカ如キ觀アリト雖モ法文ノ意ハ廣ク偽造變造ニ關スル工事ニ從事スル者トノ義ナルカ故ニ縱令其家ニ雇入レラレスシテ獨立ノ營業ヲ爲セル印版又ハ模型彫刻師若クハ印刷師ト雖モ其職業ニ從事シタル者ハ亦茲ニ所謂雇ヲ受ケタル職工タルヘシ「又一方ニ於テハ職工他ノ一方ニ於テハ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者」トアルカ故ニ職工トハ偽造變造ノ工作ニ從事セル技手ヲ其補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者トハ技手ニ使用セラレル日雇又ハ丁稚等直接雇主ニ屬セス單ニ技手ノ使役ノミニ供シタル者ヲノミ指スカ如キ觀アルモ法文ノ意ハ畢竟直接ニ偽造變造ノ工事ヲ爲シタル者ト然ラサル者トヲ區別セントニ在ルモノナルカ故ニ縱令直接雇主ニ隸屬

スル者ト雖モ偽造變造ニ直接ナル工作ヲ爲ス者ヲ補助シテ其下働ヲ爲シタル者ハ皆此中ニ入ルヘキモノトス

終ニ若シ職工カ其偽造變造シタル貨幣ヲ自ラ行使シタルトキハ如何余ハ嘗テ第八十七條ト取受行使ノ罪トノ數罪俱發ヲ以テ論スヘキモノトノ說ヲ主張セシカ今ハ反對論ヲ採用シ第八十二條乃至第八十五條ヲ以テ處斷スヘキモノト論定セント欲ス蓋シ已ト一體ヲ爲セル主犯ヲシテ行使セシムルノ意思ハ亦廣キ意味ニ於テ自ラ行使シテ他人ヲ害スルノ意思ナルカ故ニ此意思ヲ以テ作製シタル物ヲ行使セハ所謂偽造又ハ變造シテ行使シタル者トシテ何等ノ瑕疵ナケレハナリ

(四) 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者 第八十八條ニ曰ク「貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シテ等ヲ減スト茲ニ偽造變造ノ各本刑トハ如何ナル意義ナルヤ」第八十六條ニモ前數條ニ記載シタル貨幣ノ云云各本刑トアリテ文字相類スルカ故ニ人或ハ房屋ノ給與者ハ職工ノ場合ニ異ナリ主タル犯人ノ受クヘキ刑罰

ノ如何ニ拘ラス常ニ第百八十二條乃至第百八十六條ノ刑ヨリ二等ヲ減シテ處斷スルモノニ非スヤ下ノ疑ヲ起ス者アルヘシト雖モ立法ノ意ハ第百八十七條ノ場合ト同シク第百八十二條乃至第百八十六條即チ主タル犯人ノ受タヘキ刑ニ照シテ輕減スルニ在ルモノニシテ其第百八十七條ト同一ノ筆法ニ依ラサリシハ第百八十七條ノ在ルアリテ前數條ト謂フヲ得ナリシカ故ナリ蓋シ(一)第百二十一條第四號ト第百二十七條(第百二十一條第四號附和隨行シテ雜役ニ供シタル者ト第百二十七條情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者トハ共ニ其刑二年以上五年以下ノ輕禁錮ニシテ法律ハ情ニ於テ之ヲ同視セリ)トノ關係ヲ見ルモ其刑ノ職工又ハ其補助ヲ爲シタル者ト伯仲セサルヘカラサルノ理由アルノミナラス(主タル犯人ノ受タヘキ刑ヨリ二等ヲ減スルトキハ常ニ職工又ハ其補助ヲ爲シタル者ノ刑ト伯仲ス)前段ノ如ク解スルトキハ房屋給與ノ所爲ハ其實從犯ノ所爲タルニ拘ラス時ニ或ハ主タル犯人ヨリモ重キ刑罰ヲ受タルノ不結果ヲ生スレハナリ茲ニ附隨トシテ簡單ナル一問題アリ曰ク貨幣ヲ偽造、變造スルノ情ヲ知テ雇テ受ケタル職工ニ偽造、變造

スル爲メノ房屋ヲ給與シタル者ハ如何ニ之ヲ處斷スヘキヤ此問題ニ對シ人或ハ是レ職工ノ從事セル偽造、變造ノ所爲ヲ補助シタル者ナルモ之ヲ以テ雜役ニ供シタル者ト謂フヲ得ナルカ故ニ總則從犯ノ規定ニ依リ正犯職工ノ受タヘキ刑ヨリ一等ヲ減シテ處斷スヘキモノナリト曰フカ若クハ職工ハ素ト從犯ニシテ從犯ノ從犯ナキカ故ニ刑法第二條所謂法律ニ正條ナキモノトシテ無罪タラサルヘカラスト曰フ者アルヘシト雖モ予ハ簡單ニ主タル犯人ニ給與スルモ職工ニ給與スルモ其偽造、變造ノ所爲ニ加功シタル所爲ノ程度若クハ性質ニ毫モ異同ナキノミナラス何レノ場合ニ於テモ常ニ法文所謂情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者タルヲ失ハサルヲ以テ疑モナク第百八十八條正面ノ適用ヲ受タヘキモノト斷言ス

右ノ外例ヘハ偽造、變造ノ器械又ハ之ニ要スル資本ヲ支給スルカ如キ從タル行為中理論上下問ニ措クヘカラサルモノ尠カラサルニ依リテ之ヲ觀レハ畢竟法律ハ偽造、變造ニ關スル從犯ノ重モナルモノヲ舉ゲテ特別ノ明文ヲ設ケタルニ過キナルモノニシテ茲ニ規定セサルモノハ皆總則ノ適用ニ依ラサルヘカラサル

ン

(地) 偽造變造ノ行爲以後ニ關スルモノ

(イ) 取受シタル者 取受シタル者ニ付テハ初ヨリ偽造變造ノ情ヲ知リタルト否トヲ分チ各所爲ノ階級ニ依リテ處分ヲ異ニス

(一) 初ヨリ情ヲ知テ取受シタル場合 行使シタルトキハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ各二等ヲ減シ其未タ行使セザルトキハ各三等ヲ減ス(第一九

〇條別ニ説明スヘキモノナリ唯一問題トシテ注意スヘキハ偽造變造ノ貨幣タルコトヲ知リ偽造又ハ變造シタル者即チ主タル犯人ノ依頼ヲ受ケ單ニ之ヲ甲倉庫ヨリ乙倉庫ニ運搬シタル者ノ處分如何主タル犯人ノ行使ニ加功シタルニモ取受ニモ非ス蓋シ知情取受ノ所爲トシテ罰スルコトヲ得ルカ爲メニハ少クトモ自ラ又ハ他人ヲシテ行使セシムルノ意思アルコトヲ要スルハ第百九十條第二項未タ行使ノ文字アルニ依リテ明カニシテ本問犯人ハ此意思ナケレハナリ惡ラタ明文ヲ缺クモノトシテ無罪ナランカ

(二) 情ヲ知ラスシテ取受シタル場合 (8) 行使セザルトキハ無罪、後チ情ヲ知テ

行使シタルトキハ其偽造變造貨幣ノ倍額二倍ノ罰金ニ處ス但シ罰金ノ額ハ二圓以下ニ下スヲ得ス(第一九三條) 此末文ノ意ハ本刑ヲ二圓以下ニ降スコトヲ得スト云フニ在リテ酌量減輕ヲモ仍ホ之ヲ禁スルノ意ニハ非サラン、自由刑ヲ科セスシテ罰金刑ヲ科スル所以ハ本場合ニ於テハ他ノ場合ノ如ク犯人ニ於テ偽造變造ノ貨幣ニ依リテ害惡ヲ社會ニ流サントノ深キ意思アルニ非ス犯人ノ之ヲ行使シタルハ多クノ場合ニ於テ其先ニ自ラ取受ニ依リテ失ヒタル損失ヲ償ハントニ在ルモノニシテ畢竟貪慾ノ結果ナルカ故ニ之ヲ懲戒防遏スルハ更ニ過大ノ損失ヲ受クルノ虞アラシムルヲ以テ足レリトシタルニ由ルナリ

(2) 輸入シタル所爲ニ付テ 第百八十九條ニ曰ク「偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ」ト是レ輸入ハ之ニ依リテ偽造變造ノ貨幣ヲ我國土内ニ生レシムルモノニシテ其所爲之ヲ偽造又ハ變造スルモノト毫モ異ナル所ナキカ故ニシテ偽造貨幣ニ對スルモノハ貨幣偽造ノ所爲ニ變造貨幣ニ對スルモノハ貨幣變造ノ所爲ニ何レモ第百八十二條乃至第百八十六條ノ規定

ニ準シテ處断ス別ニ説明スヘキモノナシ唯其從タル行為例ハ偽造貨幣ヲ輸入スルコトヲ知リテ之ニ船舶ヲ拾與シ其船舶ノ船長ト爲リ又ハ之ヲ荷卸シタル者等ニ付テハ總則從犯ノ規定ニ依リ適應ノ處分ヲ爲スヘキモノトス
〔附加〕 第九十三條以外ノ規定ニ共通スル特別處分法 第九十三條以外ノ規定ニ共通ナル特別法ニアリ即チ

一 第九十一條ニ曰ク「前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス」ト

二 第九十二條ニ曰ク「貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入收受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス」若シ職工難役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス」ト

第一ハ從來屢遭過シタル條文第二ハ第二百二十六條ト同一ナレハ茲ニ再ヒ說明ノ勞ヲ取ラス

最終ニ(一)立法論トシテハ尙ホ論述スヘキコト甚タ多シト雖モ姑ク之ヲ省略シ

唯缺點多キ規定ナルヲ以テ改正ノ期ニ臨マハ大修正ヲ要ストノ一言ヲ留ム(二)參考ノ法條トシテハ明治九年四月十九日第五十七號布告「鑄造金銀銅貨紙幣等取扱規則」同年五月十八日大藏省甲第十二號達明治二十八年四月法律第二十八號通貨反ヒ證券模造取締法等ヲ參看スヘシ

第二節 官印ヲ偽造スル罪

法律ハ第九十四條乃至第二百一條ヲ以テ(一)官印ヲ偽造又ハ使用スル罪(二)官印ヲ盜用スル罪(三)各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造又ハ使用スル罪(四)各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用スル罪ヲ規定シ冠スルニ本節官印ヲ偽造スル罪ヲ題名ヲ以テセリト雖モ是レ編纂ノ體裁ニ於テ甚タ不可ナルモノアリ宜シク第三、第四ノ罪即チ印紙界紙及ヒ郵便切手ニ關スル罪ハ之ヲ貨幣又ハ文書偽造罪ノ節目中ニ規定シ第一、第二ノ罪即チ官印ニ關スル罪ハ後ニ規定セラル私印偽造ノ罪ト併括シテ冠スルニ官私ノ印章ヲ偽造スル罪ヲ名稱ヲ以テスヘシ

右ノ如ク本節ハ少クトモ全ク性質ヲ異ニセル二種ノ犯罪ヲ包含セルモノナルヲ以テ予ハ之ヲ官印ノ偽造ニ關スル罪ト各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ノ偽造ニ關スル罪トノ二款ニ分チ第一款ニ於テ官印ヲ偽造又ハ其偽印ヲ使用スル罪及ヒ官印ヲ盗用スル罪ヲ第二款ニ於テ各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造又ハ使用スル罪及ヒ各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用スル罪ヲ説明セント欲ス

第一款 官印ノ偽造ニ關スル罪

第一項 官印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用スル罪

官印ヲ偽造又ハ使用スル罪ハ第百九十四條乃至第百九十六條ノ規定スル所ナリ
第百九十四條ニ曰ク「御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス」第百九十五條ニ曰ク「各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ

重懲役ニ處ス」第百九十六條ニ曰ク「產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス」書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處スト即チ本罪ヲ構成スルニハ(一)所爲ノ目的物ハ官印ニ關スルコト(二)偽造又ハ使用ノ所爲アルコト(三)意思アルコトヲ要ス

第一ノ要素 所爲ノ目的物ハ官印ニ關スルコトヲ要ス

印トハ或物體ノ一定ノ表面ニ存スル一定ノ形狀ヲ他ノ物體ニ押捺シテ常ニ一定ノ影蹟ヲ永久的ニ現出セシメ以テ或事實ヲ證明スルノ用ニ供スルモノニシテ溫用ノモノト乾用ノモノトアリ一私人ノ證明ニ用フルモノヲ私印ト曰ヒ官ノ證明ニ用フルモノヲ官印ト曰フ

法律ハ官印ノ重要ナルモノニ關スルト否ラサルトニ依リテ刑罰ヲ異ニセシカ爲メ茲ニ官印ヲ分チテ(一)御璽國璽(二)各官署ノ印(三)產物商品等ニ押用スル印(四)書籍什物等ニ押用スル印ノ四種トセリ

一 御璽國璽 御璽トハ天皇ノ御印文ニ天皇御璽トアリ國璽トハ日本帝國ノ

印文ニ大日本國璽トアリ其如何ナル場合ニ於ケラルモノナルヤハ明治十九年勅令第一號公文式第十四條以下ノ規定ニ依リ其一斑ヲ知ルヘシ

二 各官署ノ印 官署トハ國家爲政ノ機關タル各官府及ヒ其部局ヲ謂フ官署ノ印トハ各官府カ國家爲政ノ機關トシテ爲シタル行爲ヲ證明スルモノ詳言スレハ何省何院何廳何裁判所ノ印ト云フカ如ク其官署ノ名ノミヲ刻セラレタルモノニシテ其官署ヲ代表スルモノヲ謂フ同一ノ適用トシテ判事又ハ檢察某ト云フカ如ク官職ト氏名トヲ刻シタル官吏ノ印モ亦官署ノ印タリ蓋シ官署ヲ組成セル一機關タル官吏ノ行爲ヲ證明スルモノナルカ故ニ理論上亦官署ヲ代表スル印ナリト謂ハサルヘカラサレハナリ

三 產物、商品等ニ押用スル官ノ記號印章 產物、商品等ニ押用スルモノトハ產物ノ出所又ハ商品ノ精粗、眞贋、量目等ヲ證明スル爲メニ押用スル記號印章ニシテ之ニ關スル偽造又ハ使用罪ハ多ク第三百九十二條ニ規定シタル如キ犯罪ト共ニ併發スルモノトス記號印章トアルカ故ニ印章ハ前ニ所謂印ニシテ記號トハ印類ヲ用ヒスシテ筆寫シタルモノヲ指スカ如キモ押用スル記號印章トアル

ニ依リテ之ヲ觀レハ畢竟廣キ意味ニ於ケル印ヲ發音シ得ヘキ文字即チ普通所謂文字ヲ現出シ得ヘキモノト發音シ得ヘカラサル文字即チ三角形又ハ十字形ノ如キ符號ヲ現出シ得ヘキモノトニ種別シ前者ヲ印章トシ後者ヲ記號トシタルモノニシテ筆寫ニ依ルモノハ縱令發音スヘカラサル符號タリト雖モ茲ニ所謂記號ニ非サルモノトス

四 書籍、什物等ニ押用スル官ノ記號印章 書籍、什物等ニ押用スル官ノ記號印章トハ物件ノ所屬ヲ明カニスル爲メニ押用スル記號印章ニシテ例ヘハ日本政府圖書帝國大學圖書ト云フカ如キ圖書印、東京地方裁判所檢事局用ト云フカ如キ檢印等ヲ謂フ

(附言) 明治二十三年十月八日法律第百號ニ依リ官印ニ關スル條項ハ公署ノ印ニ適用セラルルカ故ニ市町村等公署ノ印ニ關スルモノ公吏ノ印ハ先ニ官吏ノ印ニ付テ述ヘタルト同シテ公署ノ印タリ) 右第二乃至第四ノ種別ニ從ヒ適應ノ處分ヲ爲スヘキモノトス

第二ノ要素 偽造又ハ使用シタル所爲アルコトヲ要ス

一 偽造 偽造ノ何タルハ已ニ貨幣偽造罪ノ節ニ於テ之ヲ詳説セテ以テ再ヒ説明セズ但シ一言注意スヘキハ法文ニハ印。即チ先ニ説明タル如ク或事實ヲ説明スル爲メ他物ヲ押捺シテ常ニ一定ノ影蹟ヲ現出セシムヘキ物件ヲ偽造シタル者トアリテ印。影ヲ偽造シタル者トアラサルカ故ニ彼ノ單ニ官印ノ影蹟ヲ模寫シタルカ如キハ本罪ヲ構成スヘキ所爲ニ非ス然レトモ已ニ官印ト同一ノ影蹟ヲ現出セシムヘキ物件即チ印ヲ偽造シタルニ於テハ其之ニ用ヒタル印顆ノ材料如何ハ本罪ノ構成ヲ妨クヘキ理由ナシ

二 使用 貨幣偽造罪及ヒ文書偽造罪ノ各條ニハ行、使、ナル文字ヲ用ヒ官私印及ヒ印紙界紙郵便切手偽造罪ノ各條ニハ本文使用ナル文字ヲ用フルニ依リテ之ヲ觀レハ是レ性質上前者ハ之ヲ第三者ニ交付又ハ提示スルニ因リテ其使用ヲ致シ後者ハ書類其他適當ノ物件ニ影蹟ヲ現出セシメ印適當ノ事項ヲ記載シ(界紙若クハ證書又ハ郵便物等總テ之ヲ要スヘキ物件ニ貼付スル印紙又ハ切手)ニ因リテ其使用ヲ了ルカ故ニ彼此用語ヲ異ニシテ之カ區別ヲ明カニシタルモノニシテ茲ニ使用トハ前者ト異ナリ依リテ第三者ヲ錯誤ニ陥ラシムル以前ノ所

爲即チ印印紙界紙及ヒ切手ヲ其用方ニ從ヒテ用ヒタルコトノミヲ云フヘキカ如キモ本罪所謂使用ヲ文字ニ相當スル佛文第一章案第二百二十八條乃至第二百三十條ノ末文ニ偽造ノ壓印ヲ押捺シタル書類其他ノ物件(mandats)ヲ惡意ヲ以テ使用(日本文章案註解ニハ偽造ト譯セリ)シタル者又第百九十七條盜用ヲ文字ニ相當スル同第百三十二條ニ apposition de fautes usage frauduleux (不正ニ押捺シテ惡意ニテ用ヒタル者)等ノ文字アリテ使用ハ押捺以後ノ所爲タルコトヲ明言セルノミナラス本罪ハ貨幣又ハ文書偽造罪ト共ニ信用ヲ害スルノ罪ニシテ信用ヲ害スルノ結果ハ偽造ノ印壓ヲ押捺シ又ハ切手ヲ貼用シタル書類其他ノ物件ヲ使用スルニ非サレハ生スルモノニ非サルニ依リテ之ヲ觀レハ茲ニ使用トハ猶ホ行使ト云フカ如ク偽壓偽印ヲ押捺シ又ハ切手ヲ貼用シタルコトノミヲ云フニ非スシテ之ヲ押捺シタル書類其他ノ物件ヲ使用シテ他人ヲ欺クハ用ニ供シタルコトヲ謂フモノトス

第三ノ要素 意思アルコトヲ要ス
偽造行使共ニ第三者ヲシテ錯誤ニ陥ラシメ以テ害ヲ生セシムルノ意思アルコ

トヲ要ス 詳細ハ文書偽造罪ノ說明ニ就テ之ヲ知ルヘシ
處分 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス別ニ說明ヲ要セス唯一言スヘキハ本罪其他同一ノ規定ニ依ルモノハ後ニ詳説スルカ如ク貨幣偽造罪又ハ私文書偽造罪ト異ナリ偽造ト使用トハ各一罪ヲ爲スモノナルカ故ニ各自獨立シテ各共犯アリ未遂犯アリト雖モ一人ニテ二者ヲ兼テ犯シタルトキハ犯罪ノ性質上行使ハ其レ自身偽造ノ中ニ包含セラルルカ故ニ偽造ノ一罪ノミナリトス

第二項 官印ノ影蹟ヲ盜用スル罪

第百九十七條ニ曰ク「御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス」若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ

刑ニ同シ「ト即チ本罪ヲ構成スルニハ(一)御璽國璽官印記號印章ノ影蹟タルコト

(二)盜用ノ所爲アルコト(三)意思アルコトヲ要ス

第一ノ要素 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟タルコト

(一)茲ニ官印記號印章トアルハ第百九十五條ニ各官署ノ印第百九十六條ニ產物商品又ハ書籍什物等ニ押用スル記號印章トアルヲ節約シタルモノニシテ官印トハ各官署ノ官印ヲ謂ヒ記號印章トハ產物商品又ハ書籍什物等ニ押用スル官印ヲ謂フ其詳細ハ前項已ニ之ヲ説明セリ(二)影蹟トアリテ印刷ヲ伴フコトヲ要セサルカ故ニ已ニ押捺シタル印影モ亦本罪ノ目的タルヘシ

第二ノ要素 盜用ノ所爲アルコトヲ要ス

本罪ノ規定ニ相當スル佛文章案第三百三十二條 *quiconque aura fait une appropriation illicite et frauduleuse* (不法ニ押捺シ惡意ヲ以テ使用シタル者トアリテ盜用トハ之ヲ節約シタルノ語ナルカ故ニ盜トハ不法ニ押捺スルノ義用トハ惡意ヲ以テ使用スルノ義ナリ)(二)不法ニ押捺スルノ義ナルカ故ニ印刷ヲ盜ミテ之ヲ押用スヘカラサル書籍其他ノ物件ニ押用シ已ニ押用シタル白紙ニ記載スヘカ

ラサル事項ヲ記載シ又ハ已ニ正當ニ押用シタル印影ヲ切リ取リテ押用スヘカラサル書類又ハ其他ノ物件ニ貼附スルハ勿論監守者ヲ欺罔シテ不法ニ押捺セシメタルモ亦盜奪ノ所爲タリ(二)用即チ使用ニ付テハ前項説明セル所ニ同シ法律ニハ盜用トアリテ盜奪ト使用トノ所用アルヲ要スルカ故ニ盜奪スルモ使用モス使用スルモ盜奪セザレハ本罪ノ完成ヲ妨クヘシ彼ノ或學者カ「第百九十四條乃至第百九十六條ニ於テハ偽造ト使用ト各一罪ヲ構成スルカ故ニ本罪ノ規定ニ於テモ亦盜ト用ト各一罪ヲ構成スルモノナリト解釋セズンハ權衡ヲ失ス」ト云フカ如キハ立法的補充解釋ノミ眞正ノ解釋ニ非ス

第三ノ要素 意思アルコトヲ要ス

意思ニ付テハ不法ニ押捺シテ信用ヲ害スル所爲ヲ爲ス意思アルヲ要ス詳細ハ先ニ説明シタル所ヲ參照スヘシ

處分 處分ニ付テハ前數條即チ第百九十四條乃至第百九十六條ノ區別ニ從フト同時ニ監守ノ職責アル者ト否トヲ分チ監守ノ職責ナキ者ノ所爲ニ係ルトキハ偽造ノ刑ヨリ一等ヲ減シ監守ノ職責アル者ノ所爲ニ係ルトキハ偽造ノ刑ヲ

科ス別ニ説明スヘキモノナシ唯第百七十六條ニ於テハ監守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサルトキ之ヲ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スルノ規定アルニモ拘ラス本條第一九七條之ニ類似スル規定ナシ予ハ其何ノ故タルヲ知ラス

第二款 各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ノ偽造ニ

關スル罪

第一項 各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造又ハ使用スル罪

第百九十八條ニ曰ク「官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト即チ本罪ヲ構成スルニハ(一)所爲ノ目的物ハ各種ノ印紙界紙又ハ郵便切手ニ關スルコト(二)偽造變造又ハ使用ノ所爲アルコト(三)意思アルコトヲ要ス

第一ノ要素 所爲ノ目的物ハ各種ノ印紙界紙又ハ郵便切手ニ關スルコトヲ要

(二)各種ノ印紙 各種ノ印紙トハ證券賣藥訴訟登記印紙等ヲ謂フ(一)各種ノ界紙
 膏ヲ證券界紙訴訟用界紙訴狀等ニ用フル界紙裁判用界紙裁判言渡書ニ用フル
 界紙ナルモノアリシカ今ハ廢止セラレテナシ又手形用紙モ今日ニ於テハ私製
 ノ物ヲ用フルコトト爲リシカ故ニ界紙ニ該當スルモノハ例ヲ示スコトヲ得
 二

第二ノ要素 偽造變造又ハ使用シタル所爲アルコトヲ要ス

一 偽造變造 印紙界紙切手皆紙幣ト其體裁ヲ同シウス依テ之カ偽造變造ノ
 所爲ハ紙幣ニ關スルモノト同シ説明ヲ須ヒス先ニ説明シタル所ヲ參照スヘシ
 二 使用 曩ニ官印ノ偽造使用ニ付テ證明シタル如ク使用トハ之ヲ尋常一般
 ノ意味ニ解スルトキハ之ヲ使用シテ證書ヲ作製シ(證券印紙界紙物品ヲ販賣シ
 (賣藥印紙)訴狀又ハ請求書ヲ差出シ(訴訟印紙)登記印紙若クハ郵便物ヲ發送
 相當官吏ニ交付シ又ハ其郵便函ニ投入スル(郵便切手コトノ義ナレトモ此等ノ
 印紙界紙ハ右ニ所謂使用ノ外管ニ廣ク販賣ノ目的ト爲ルノミナラス往往紙幣

ト同シテ貨幣ニ代用セラルルコトアリテ情ニ於テ不問ニ付スヘカラザレト本
 條ニ相當スル佛文第一章案第二百三十一條 *Auront mis en circulation lesdits tim-
 bres contrefaits ou en auront fait un usage frauduleux* (即チ又ハ之ヲ流通ニ置キ若ク
 ハ使用シタル者)トアリテ所謂使用ノ外更ニ流通ニ置クモノヲ豫見スルニ依
 リテ之ヲ觀レハ茲ニ使用トハ普通所謂使用ノ外之ヲ流通セシムルノ所爲ヲモ
 亦包含セシメタルノ語ニシテ彼ノ情ヲ知リテ之ヲ販賣シ又ハ貨幣ニ代用スル
 ノ所爲モ亦本罪ヲ構成スルモノト解スルヲ可トセンカ

第三ノ要素 意思アルコトヲ要ス

本要素ノ説明ハ之ヲ省略ス

處分 一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 亦説明ヲ須ヒス

終ニ臨ミテ一言ス(一)本條規定スル所ノ罪ノ目的物ハ皆徵稅ノ目的ヲ以テ制定
 セラレタルモノニ關スルカ故ニ性質ニ於テハ大ニ異ナル所アルモ明治二十年
 七月二十三日勅令第三十六號進入紙製造取締規則第二條ニ紙幣兌換銀行券公

債證券大藏省證券其他政府發行ノ證券ニ類似ノ文字、書紋又ハ凸ニ文字、書紋ヲ流入シタル紙ヲ人民ニ於テ製造スルコトヲ禁ス違フ者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(一)ノ規定アリ些カ參看ニ供ス(二)貨幣偽造罪ニ付テハ輸入收受ヲ罰スルノ規定アルモ本罪ニ付テハ之ヲ缺如ス例ナキニ由ルヘシト雖モ些カ周到ヲ缺カン

第二項 各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用スル罪

第百九十九條ニ曰ク已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スト本罪ヲ構成スルニハ(一)已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手タルコト(二)再ヒ貼用シタル所爲アルコト(三)意思アルコトヲ要ス

第一ノ要素 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手タルコトヲ要ス
印紙切手ハ説明ヲ須ヒス貼用ハ猶ホ使用ノ如シ已ニ貼用シタルトハ已ニ一タヒ證券訴狀又ハ郵便物等凡テ之ヲ要スヘキモノニ貼附シテ印紙、切手ノ用ヲ盡

シタルコトヲ謂フ故ニ(一)已ニ一タヒ其用ヲ盡シタルカ縱令消印ナキモ已ニ貼用シタルモノタルヲ失ハス蓋シ消印ハ其用ヲ盡シタルノ證ニ過キサレハナリ(二)反對ニ未タ一タヒモ其用ヲ盡サザランカ縱令一度或物件貼附スヘカラサルモノハ勿論貼附スヘキモノト雖モ(三)貼附シ又ハ消印アルモ已ニ貼用シタルモノト謂フヲ得ス

第二ノ要素 再ヒ貼用シタル所爲アルコトヲ要ス

前段説明シタル所ニ依リ十分ナリ然レトモ唯一言スヘキハ(一)再ヒ貼用スルトハ同一ノ人カ再度貼用シタルコトヲ云フニ非シテ二回目ノ貼用ヲ爲スト云フノ義ナルカ故ニ先ニ貼用シタル人ト再ヒ貼用シタル人トノ同一ナルト否トハ本罪ノ構成ニ何等ノ關係ヲ有セズ(二)再ヒ貼用スルトハ再度同一ノ用ヲ盡サシムルコトヲ云フノ義ナルカ故ニ彼ノ例ヘハ已ニ其用ヲ盡シタル物件ノ上ニ貼用セラレタル印紙中偶、消印ナキモノアルヲ發見シテ之ヲ竊取シ空地ヲ充填スルニ古印紙ヲ以テシタルカ如キハ單ニ罪蹟ヲ蔽ハンカ爲メニ印紙ノ貼附シアルヘキ場所ニ古印紙ヲ貼附シタリト云フノミニシテ印紙自體ノ用ヲ再ヒ充

タシメタルモノニ非サルカ故ニ茲ニ所謂再貼用ニ非ス
第三ノ要素 意思アルコトヲ要ス
已ニ貼用シタルモノタルノ情ヲ知リナカラ之ヲシテ再ヒ其用ヲ盡シタルノ
意思アルヲ要ス説明ヲ要セスシテ明カナリ
處分 二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス罰金ニ處スル所以ハ本條ノ所爲タル
多クハ納税ノ義務ヲ免レントノ意ニ出ヅルモノニシテ其性質第百九十三條ノ
所爲ト相類似スレハナリ
終ニ臨ミ一言ス印紙再貼用ハ必ス印紙ノ不足ヲ生スルモノニシテ再貼用ノ規
定ハ其レ自身印紙不足ノ結果ヲ包含スルモノナルカ故ニ印紙再貼用ノ所爲ハ
本條ト證券印税規則第十九條トノ俱發ヲ以テ論スルコトヲ得ス

附款 本節ノ各罪ニ共通ノ規定

法律ハ本節ノ各犯罪ニ共通ノ規定トシテ

一 第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケタル者ハ未遂

犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

二 第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ利ニ處スル者ハ六月以上

二年以下ノ監禁ニ付ス

トアリ然レトモ此二條ハ恐ラク第百九十八條ト第百九十九條ノ間ニ置クヘキ
モノニシテ之ヲ本節ノ各條ニ共通セシメタルハ蓋シ錯誤ニ出ヅタルモノナラ
ン如何トナレハ第百九十九條ノ罪ノ如キハ罪質輕微加フルニ罰金刑ナルニ監
禁ヲ附スヘキ理由ナケレハナリ刑法第三四條第四〇條明治十五年十月二十八
日司法省内訓參照

第三節 文書ヲ偽造スル罪

先ニモ説明シタル如ク我刑法ハ編纂ノ體裁極メテ粗笨官印ヲ偽造スル罪ト題
スル節目ノ中ニ紙幣又ハ公債證書等ニ準スヘキ印紙界紙郵便切手等ノ偽造變
造ニ關スル罪ヲ混入シ已ニ官印ノ偽造ト官文書ノ偽造變造トハ各其節目ヲ異
ニセルニモ拘ラス私印ノ偽造ト私文書ノ偽造變造トハ之ヲ同一節目ノ中ニ併

セ規定シ既ニ官文書ノ偽造變造ト私文書ノ偽造變造トハ各其節目ヲ異ニセ
モ拘ラス通常官文書ノ一種タル免狀又ハ鑑札ノ偽造變造ト通常私文書ノ一
種タル疾病證書ノ偽造變造トハ官私文書ノ偽造變造ニ關スル節目ノ外ニ於テ
別ニ一節ヲ設ケテ之ヲ規定セリ若シ論理ヲ正シ秩序的ニ編纂セハ第二節以下
ニ規定シタルモノノ中例ヘハ印紙界紙郵便切手等ノ偽造變造ニ關スル行為ハ
貨幣偽造罪ト併セ若クハ對立シテ規定シ以テ印章ト文書トヲ分ツト同時ニ官
私ヲ併括シテ規定スルヲ可トス隨テ說明ノ順序モ亦理論的排列ニ依ルヘキ管
ナレトモ著シク法文ト異ナリタル順序ニ依ルトキハ却テ講究ノ便ヲ失ハシム
ルノ恐アルカ故ニ可成的明文ノ順序ニ依ルト同時ニ些カ說明ノ便ヲ計リ茲ニ
予ハ本節ノ如キ標題ヲ設ケ其下ニ於テ法文第三節乃至第五節ノ規定ヲ說明セ
ント欲ス

本罪ニ付テモ亦例ニ依リ先ツ文書ノ偽造變造ニ關スル一般ノ成立要素ヲ說明
シ次ニ其各體樣及ヒ處分ヲ說明スヘシ

第一款 文書偽造罪ノ一般ノ成立要素

文書ノ偽造變造ニ關スル一般ノ成立要素ヲ知ランカ爲メニハ先ツ文書偽造變
造罪ノ何者タルヤヲ知得セサルヘカラス故ニ予ハ先ツ文書偽造罪ノ定義ヲ示
シ漸次之ヲ分析シテ其成立要素ヲ說明セント欲ス

文書偽造罪ノ定義 我國ノ所謂文書偽造罪ノ何者タルヤニ付テハ從來學說紛
紛歸一スル所ヲ知ラスト雖モ惟フニ或ハ單ニ其習得シタル或外國ノ法律ニ依
リ專ラ理想ニ基キテ之ヲ定義セントシタルヨリ我國ノ法人ト一致セサルニ至
リタルカ或ハ能ク沿革等ニ基キ我國ノ所謂文書偽造罪ノ何者タルヤヲ知ルモ其
何カ故ニ然ラサルヘカラサルヤヲ明カニセサルヨリ遂ニ以テ其論旨ヲ貫徹ス
ルコト能ハサリシカニ外ナラサルモノトス乃チ余ハ其歸一セサルヘカラサル
所以ヲ明カニセンカ爲メ綱ヲ立テ目ヲ逐フテ之ヲ說明セント欲ス

然ラ按スルニ文書ナルモノハ言語若クハ動作ト同シク事實又ハ思想ヲ他ニ
發表スルノ機關トス是ニ於テヤ甲事實又ハ思想ヲ表示スル所ノ機關ニシテ正

確ナルトキハ其之ニ依リテ表示セラルル所ノ事實又ハ思想モ亦自ラ正實ナルヘシト云フノ思想ヨリシテ専ラ機關ノ真正ヲ希ヒ機關即チ形體ノ真正ヲ保護セントノ思想即チ形式ヨリ觀察シタル思想ト(乙)文書ハ單ニ或事實又ハ思想ヲ表示スルノ機關ニ過キサズモノニシテ文書ノ真正ヲ希フハ畢竟事實又ハ思想ノ真正ナランコトヲ希フカ爲メニ外ナラサルカ故ニ文書ニ依リテ表示セラルル所ノ事實又ハ思想タニ真正ナルトキハ其機關タル文書其モノノ真正ハ措テ間フ所ニ非ストノ思想即チ實質ヨリ觀察シタル思想トノ二ヲ生ス前者ノ思想ニ依リテ立法スル者ハ文書ヲ以テ單ニ事實又ハ思想ヲ表示スル機關タルニ止マラス進ミテ動カスヘカラサル一ノ形式ト看做シ之ヲ偽ルノ罪ヲ以テ文書ト云フ形式ヲ偽ルハ罪トシ後者ノ思想ニ依リテ立法スル者ハ文書ヲ以テ言語又ハ動作ノ如ク事實又ハ思想ヲ表示スルノ機關又ハ手段ニ過キストシ之ヲ偽ルノ罪ヲ以テ文書ニ依リ其實ヲ偽ルノ罪トス

尙ホ了解ニ便ナラシメンカ爲メ文書偽造罪ノ定義ニ關スル立法上ノ二大主義ヲ指示セン

甲ノ一 文書偽造罪トハ或事實又ハ思想ヲ表示スル機關タル文書其モノ(即チ形體)ヲ偽ルノ所爲ニシテ之ヲ構成スルニハ(一)他人ヲ欺キ以テ真正ノ文書形式ノ真正ナル文書ナリト誤信セシムルノ意思ト(二)他人ヲ欺クニ足ルヘキ偽文書ヲ作製スルノ所爲トノ二要素ヲ具備スルヲ以テ十分トス

乙ノ一 文書偽造罪トハ文書ニ依リテ文書ノ證明セントスル事實又ハ思想ノ真實即チ實質ヲ偽ルノ行爲ニシテ之ヲ構成スルニハ(一)他人ヲ欺キテ文書カ表示スル所ノ事實ヲ真正ナリト誤信セシムルノ意思ト(二)虛造ノ事實ヲ記載シタル文書ヲ作製スルノ所爲トノ二要素ヲ具備スルヲ以テ十分トス

(甲)ハ獨逸刑法支那刑法及ヒ我徳川百箇條ノ如キ亦或ハ然ラン其他獨逸主義ヲ採用スル諸國ノ刑法ニ於テ認メララルル所ノモノニシテ(乙)ハ羅馬法佛國古法佛國刑法其他佛國主義ヲ採用スル諸國ノ刑法ニ於テ認メララルル所ノモノタリ而シテ此二主義ハ其孰レヲ採用スルモ單ニ純理ノミヲ逐フテ立法スルトキハ其應用ニ困難ヲ感スルコトナカルヘシト雖モ事實上ニ於テハ實ニ忍フヘカラサル結果ヲ生スルコトアリ蓋シ純理一片ニ據リテ主義ヲ貫徹スルトキハ例ヘハ

一片ノ端書又ハ戲文書ノ如キ之ヲ作製スル者ニ於テ他人ヲ害セントノ惡意ナキハ勿論何等ノ實害モ生スルコトナキモ仍ホ法ハ之ヲ罰セサルヘカラサルノ結果ヲ生スレハナリ是ニ於テヤ孰レノ主義ヲ採用スル立法ニ於テモ之ニ多少ノ制限ヲ置キ以テ其主義ヲ和ケサルモノナシ即チ甲ノ主義ヲ採用シテ立法スルモノハ偽造セラルル文書其モノカ多少重要ナルモノ、例ヘハ權利義務ノ消長ニ關スルト云フカ如キタルコトヲ要シ縱令文書其モノノ形式ヲ偽ルモ一片ノ端書若クハ戲文書例ヘハ娼妓ノ付ケ文、花見ノ誘引文ノ如キ權利義務ノ消長ニ格別ノ關係ヲ有セサル性質ノ文書ニ係ルモノハ其レ自身實害ノ生セサルモノト推定シテ之ヲ除外シ乙ノ主義ヲ採用シテ立法スルモノハ之ニ依リテ事實ノ真正ヲ偽リ以テ不正ニ他ヲ害スルノ意思アルコトヲ要シ縱令文書ニ依リテ事實ノ真實ヲ偽ルモ一時ノ戲謔ニ出タルモノ又ハ不在者ノ利益ヲ保全センカ爲メ其委任狀ヲ偽造シテ預金ヲ取立テ之ヲ不在者ニ交付シ同時ニ不在者ヨリ預リ主ニ對シテ代人ニ依リテ預金ヲ受取リタルコトヲ通知セシメタルカ如キ毫モ他ヲ害スルノ意思ナキモノハ之ヲ除外セリ

尙ホ了解ニ便ナランカ爲メ文書偽造罪ニ關シ諸國ノ刑法カ規定スル實際ノ立法例ヲ摘示セン

甲ノ二 文書偽造罪トハ法律關係上多少ノ重要ナル文書其モノ形態ヲ偽ルノ所爲ナリ隨テ之ヲ構成スルニハ單ニ(一)文書ノ形式ヲ偽ル所爲ト(二)之ヲ以テ他人ヲ欺ク意思アルノミヲ以テ足レリトセス進ミテ(三)其文書ハ法律關係上多少重要ナル文書換言スレハ性質上實害ヲ生セシムルニ足ルヘキ(若シ偽造變造ナリトセハ)文書ニ係ルコトヲ要ス

乙ノ二 文書偽造罪トハ文書ニ依リテ文書カ證明セントスル事實ノ真正ヲ偽リテ他人ヲ害スルノ所爲(若クハ害ヲ生セシムルノ所爲)ナリ隨テ之ヲ構成スルニハ單ニ(一)文書ニ依リテ事實ノ真正ヲ偽ル所爲ト(二)他人ヲ欺ク意思アルノミヲ以テ足レリトセス進ミテ(三)他人ニ害ヲ生シ得ヘキコト(即チ實害ヲ生スルノ危險アルコト)隨テ他人ヲ害スルノ意思アルコトヲ要ス

(注意) 前者ハ形式ノ上ヨリ主義ヲ立テタルカ故ニ其制限モ亦之ヲ重要ナル文書ト云フカ如ク形式ノ上ヨリ施シタルモノニシテ後者ハ實質ノ上ヨリ主

義ヲ立テタルカ故ニ其制限モ亦實害ヲ生スル若クハ他人ヲ害スルコト隨テ
 他人ヲ害スルノ意思ト云フカ如ク實質ノ上ヨリ施シタルモノトス
 前述ノ如ク二箇ノ主義孰レモ單純ニ之ヲ敷衍シテ何等ノ制限ヲモ設クルコ
 トナクシハ縱令事實上ニ於テハ忍フヘカラサル結果ヲ生スルコトアルモ其適
 用ニ於テハ何等ノ困難ヲ見ルコトナカルヘシ換言スレハ文書偽造罪ホト規定
 ノ簡且ツ明ナルモノハナカルヘシ蓋シ甲主義ニ於テハ文書ノ形式カ眞實ナラ
 ナレハ直チニ罪ヲ構成シ乙主義ニ於テハ文書ノ事實カ眞實ナラサレハ直チニ
 罪ヲ構成スルノ結果裁判官ハ單ニ文書又ハ事實カ眞正ナルヤ否ト云フ簡單ナ
 ル問題ヲ審査スルノ外他ニ調査ヲ要スヘキノ點ナケレハナリ然ルニ右ノ如ク
 二箇ノ主義何レモ實際ノ事情ヲ斟酌シ多少ノ制限ヲ設ケタルノ結果文書偽造
 罪ハ刑法ノ規定中最モ難解ノ規定ト爲ルニ至レリ蓋シ前者ノ主義ニ於テ荷モ
 文書ト云フ以上ハ其レ自身多少ノ必要ナキモノアラサルニ拘ラス法律ハ尙ホ
 進ミテ法律關係上多少重要ナルモノニ係ルコトヲ要ステフ制限ヲ設クルノ結
 果普通ノ必要ト法律關係上ノ必要トハ之カ境界ヲ求メント欲スルモ途ニ程度

ノ區別ニ歸著シテ捕捉スヘカラサルニ至ルヘク後者ノ主義ニ於テモ亦凡ソ眞
 實ヲ僞ルノ事タル(縱令一時ノ戲謔ニモセヨ)其レ自身多少ノ實害無形の若クハ
 精神的ヲ生スヘキモノタルニモ拘ラス法律ハ尙ホ進ミテ實害即チ感情の害
 惡ニ止マラス吾人ノ利益又ハ幸福ヲ亡失セシムヘキ害ヲ生スヘキコトヲ要ス
 テフ制限ヲ設クルノ結果感情即チ精神的害惡ト實質的害惡ノ境界ハ之ヲ求メ
 ント欲スルモ途ニ程度ノ區別ニ歸著シ捕捉スヘカラサルニ至ル(感情の害惡ト
 實質的害惡トハ後ニモ述フル如ク觀察ノ如何ニ依リテ全ク相混同スルノ觀ア
 リ)ヘケレハナリ夫レ然リ故ニ現今諸國ノ規定ニ於テ文書偽造罪ノ解釋ニ困難
 ナルハ之ヲ解スル者ノ研究十分ナラサルカ故ニ非シテ規定自體ノ困難ナル
 カ故換言スレハ其規定カ何レモ理論ヲ一貫セサルカ故ナリ隨テ之ヲ解釋スル者
 ハ其規定ノ困難ナルコト否不明ナルコト及ヒ其不明ナル所以ヲ明カニセハ十
 分ナリトス後段予カ説明スル所此ノ如キモノアリ亦已ムヲ得サルニ出ツ請フ
 幸ニ智ムル勿レ語ニ曰ク知ラサルヲ識ラストセヨ是レ知レルナリト
 以上我輩ハ文書偽造ノ本質ヲ明カニシ之ニ應スヘキノ二箇ノ主義及ヒ其制限ヲ

説明セリ是ヨリ立法上孰レノ主義ヲ以テ可トスヘキヤ及ヒ解釋上我刑法ハ孰レノ主義ヲ採用セルヤヲ説明セント欲ス

第一 立法上右二主義ハ孰レヲ以テ宜キヲ得タリトスヘキヤ 第二ノ主義ハ文書ハ眞實ヲ表示スルノ具ナリト云フ文書ノ本質ニ適スルカ故ニ純理ノ上ニ於テハ固ヨリ正當ナルヘシト雖モ「シヨッペンハウエル」ノ所謂「目的ハ手段ヲ恕スト」ノ格言ハ屢弊害アルカ如ク若シ夫レ實質タニ眞正ナルトキハ形式ノ眞偽ハ措テ之ヲ問ハストセハ人カ之ニ憑リテ確信ヲ惹起スヘキ唯一ノ材料タル文書ノ形式ヲ擾亂シテ玉石相錯ナルノ結果其目的タル事實ノ眞實モ亦十分ナル保護ヲ受クルコト能ハサルニ至ルヘシ之ニ反シテ第一ノ主義ハ文書ノ本質ニ適セナルカ故ニ固ヨリ其レ自身正當ノモノナリト謂フコトヲ得スト雖モ誤ヲ揮テ馬謖ヲ斬ルノ筆法ハ軍規ヲ正シ隨テ其目的タル軍務ヲ強固ナラシムルノ利アルト一般文書ノ形式ヲモ尙ホ之ヲ荷モセサルノ結果其目的タル事實ノ眞實モ亦能ク完全ナル保護ヲ受クルヲ得ヘキヲ以テ立法上ノ主義トシテハ第一ノ主義ヲ採用スルヲ以テ其宜シキヲ得ルモノト確信ス

第二 然ラハ解釋上我刑法ハ二主義中其孰レヲ採用シタルヤ (一)我刑法ハ佛國刑法ヲ研究シタルボ氏ノ立案ニ成リタルモノニシテ現ニ明治十年司法省ヨリ元老院ニ提出セル氏ノ佛文草案第二百三十七條以下即チ確定法文第二百二條以下文書偽造罪ノ各條ニ相當スル法文中ニハ何レニ於テモ Usage Friend n'enx (意又ハ詐欺ノ使用ナル文字アルト)當時ニ在リテハ裁判官ノ解釋權ヲ獨束スルノ力ヲ有セシ明治十六年四月三十日司法省內訓大審院以下各裁判所ヘ達シタルモノ(二)文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使スルノ罪ヲ構成スルニハ必ス眞實ヲ變換スルコト他人ニ害ヲ加フルノ意思及ヒ害ヲ生スルヲ得ヘキコトヲ要ス故ニ之ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使スルモ人ニ害ヲ加フルノ意思ナク若クハ害ヲ生スルコトヲ得ヘカラサル事件ニ係ルトキハ此等ノ罪ヲ以テ處分スルノ限ニ在ラス因テ裁判官ニ於テハ各事件ニ就キ此條件ノ有無ヲ審究シ相當ノ裁判ヲ與フヘシ右ハ豫テ心得モ之アルヘク候ヘ共爲念及內訓候也トアルト(三)明文第二百五條ニモ官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シトアリテ作製權アル官吏カ虛偽ノ事實ヲ記載シタル文書ヲ作製スルコトモ尙ホ之ヲ稱シテ偽

造ト云フト同時ニ第二九條第二項ニモ亦其手形證書ニ詐偽ハ裏書ヲ爲シテ行使セタル者亦同シトアリテ詐偽ノ裏書即チ事實ヲ造リタル裏書ヲ爲スノ行爲モ亦偽造ノ一種タルコトヲ明カニセルトニ依リテ之ヲ觀レハ我刑法ハ文書ヲ以テ眞實ヲ偽ルコトヲ以テ文書偽造罪トスルカ故ニ第二ノ主義ヲ採用シタルモノニシテ之ヲ構成スルニハ佛國刑法ノ如ク害ヲ生シ得ヘキコト及ヒ害ヲ生セシムルハ意思アルコトヲ要スルヤ疑ヲ容レサルナリ

右論述シタル所ニ依リ我刑法ノ所謂偽造罪ナルモノハ第二ノ主義ニ制限ヲ設ケタル佛國刑法ト同シタ左ノ如ク定義スヘキモノトス曰ク
文書偽造罪トハ文書ニ憑リテ文書カ證明セント欲スル所ノ事實ノ眞實ヲ偽リ以テ害ヲ生セシムルノ所爲ナリ

文書偽造罪ノ一般ノ成立要素―右證明シタル所ニ依リ本罪ハ下ノ各要素ヲ以テ成立スルモノトス(一)文書ニ依ルコト即チ文書ヲ作製シ又ハ増減變換シテ之ニ依ルコト(二)事實ノ眞實ヲ偽ルコト(三)文書カ證明セント欲スル所ノ事實ニ關スルコト(四)害ヲ生シ得ヘキコト(五)害ヲ生セシムルノ意思アルコト是ナリ

第一ノ要素 文書ニ依ルコト即チ文書ヲ作製シ又ハ増減變換シテ之ニ依ルコトヲ要ス

是レ本罪ノ印章偽造罪又ハ偽證罪等ト區別セラルル要點タリ而シテ縱令文書ニ依ルモノト雖モ貨幣ノ如キ印章ノ如キ商標ノ如キ特別ノ明文アルモノハ本罪ノ範圍外トス

法律ハ本罪構成ノ必要條件トシテ文書ヲ作製シ又ハ増減變換シタルコトヲ要スルカ故ニ茲ニ先ツ文書ノ何者タルヤヲ知得スルコトヲ得ス

文書トハ文字ヲ以テ記載シタル諸般ノ記錄 (documents) ニシテ或事實又ハ思想ヲ表示スルモノヲ謂フ而シテ文字ハ之ヲ表音の文字即チイロハ又ハ一二三ト云フカ如ク發音ヲ代表スル文字ニシテ發言ノ媒介ニ依リ間接ニ或事實又ハ思想ヲ描出スルモノト表意的又ハ形象の文字(四)等ノ直接ニ事物ヲ代表スルモノニシテ常ニ之ニ依リテ代表セラルヘキ事物ノ形態ヲ描出スルモノトノ二トスルコトヲ得茲ニ所謂文書トハ表音の文字ヲ以テ記載シタルモノノミヲ云フヤ將タ形象の文字ヲ以テ記載シタルモノヲモ仍ホ之ヲ包含スルヤ法律カ他

ノ條項ニ於テ文書ノ外別ニ圖書ナルモノアルコトヲ認ムルニ依リテ之ヲ觀レハ前者ノミニ限ルヘキカ如キモ(一)本罪ハ或事實又ハ思想ヲ證明スヘキ記錄即チ書證ヲ偽ルノ所爲ヲ罰シタルモノニシテ(二)表背の文字ヲ以テ記載シタルモノト雖モ例ヘハ詩歌俳偕等ヲ記載シタルモノノ如キ單ニ其書態又ハ風韻等ヲ描出スルコトヲ主トシタルモノハ之ヲ記錄ト謂フコトヲ得サルト同時ニ縱令形象の文字ヲ以テ記載シタルモノト雖モ例ヘハ山林田野等ノ地理ヲ明カニスルカ爲メニ記載セラレタル繪圖面ノ如キハ之ヲ記錄ト謂ハサルヘカラサルトニ依リテ之ヲ觀レハ茲ニ所謂文書トハ他ノ場合第四百十一條第二項所謂文書圖書又ハ第三百五十八條所謂書類圖書ト異ナリ表背の文字ヲ以テ記載セラレタルモノト將タ形象の文字ヲ以テ記載セラレタルモノトヲ問ハス專ラ或事實又ハ思想ヲ表示スルカ爲メニ記載セラレタルモノ即チ書證ト爲リ得ヘキモノヲ總稱スルモノトス然ラハ書證ト爲リ得ヘキモノハ舉ケテ本罪ノ目的物タルコトヲ得ヘキヤト云フニ此點ニ付テハ更ニ主觀的觀察ヲ以テ之ヲ區別セサルヘカラス例ヘハ秀吉ノ墨付那翁ノ書翰ト云フカ如キ元來或事實又ハ思想ヲ表示

スルカ爲メニ作製セラレタルモノ隨テ書證タルヘキモノタリト雖モ之ヲ偽造スル者ノ意思又ハ之ヲ所持スル者ノ意思ニ因リ一ノ古物又ハ美術品タルニ過キサルコトアルカ故ニ客觀的書證ト爲ルヘキモノニ對スル行爲ニ文書偽造罪又ハ毀棄罪ヲ構成スルヤ將タ無罪タルヤ又ハ他罪タルヤハ偏ニ犯人ノ意思若クハ所持者ノ意思ヨリ主觀的ニ觀察シテ之ヲ決セサルヘカラス而テ之ヲ偽造罪ハ之ヲ提示セラルル者カ證據ヲ誤マラルルニ因リテ害ヲ生シ毀棄罪ハ之ヲ提出スルノ利益ヲ有スル者即チ所持スル者カ證據ヲ亡失スルニ因リテ害ヲ生スルカ故ニ(一)偽造罪ニ付テハ犯人ノ意思ヨリ觀察シ若シ書證ヲ偽ランカ爲メニ偽造行使スルトキハ本罪ヲ構成シ古物又ハ美術的觀念ヲ以テ偽造行使スルトキハ本罪ヲ構成セス(二)毀棄罪ニ付テハ(犯人ノ意思ヲ要スヘキハ勿論ナリト雖モ證據ノ所持者ヨリ觀察シ證據トシテ所持スルトキハ文書毀棄罪ヲ構成シ美術又ハ古物的觀念ヲ以テ所持スルトキハ器物毀棄罪ヲ構成ス然レトモ法律ハ單ニ文書ヲ作製シ又ハ之ヲ増減變換スルコトヲ要スルノミニシテ其文章ヲ記載セル方法又ハ記載セラレタル物ノ如何ヲ制限セサルカ故ニ手ヲ以テ筆寫

スルト近來發明セラレタル電信機ノ如ク器械自身ヲ以テ文字ヲ寫出スルモノニ依ルト紙織物木乃至金石ノ上ニ描出スルトニ論ナク本罪ヲ構成ス而シテ電信ニ依ル場合ニ付テハ其適用多少複雑ナルモノアルカ故ニ注意ノ爲メ一言ヲ附加スヘシ抑モ電信ニ依ル文書ノ偽造變造ニ付テハ先ツ二箇ノ場合ヲ想像スルコトヲ得ヘシ即チ(一)電信技手ニ依リテ犯サル場合ニ技手以外ノ者ニ依リテ犯サル場合ニ付テハ二箇ノ場合又各二箇ノ場合ヲ想像スルコトヲ得即チ電信技手ニ依リテ犯サル場合ニ付テハ發信局ニ於テ技手カ依頼セラレタルニ依頼セラレタリトシ或ハ依頼セラレタル電信文ヲ増減變換シテ打電スルコトアリ受信局ニ於テ技手カ受取ラタル電報ヲ受取リタリトシ或ハ受取ラタル電信文ヲ増減變換シテ配達用紙ニ記載シ以テ之ヲ受信人ニ送達スルコトアリ又技手以外ノ者ニ依リテ犯サル場合ニ付テハ技手以外ノ者カ初ヨリ頼信紙ニ詐僞ノ電信文ヲ認メ有形又ハ無形ノ詐僞ニ依リ又ハ頼信紙ニ記載シタル他人ノ電信文ヲ増減變換シテ發信局ニ依頼シ依リテ電報ヲ發セシムルコトアリ或ハ技手以外ノ者カ送達ヲ受ケサルニ之ヲ受ケタリト稱シテ配達用紙ニ

虛僞ノ電信文ヲ記載シ或ハ送達ヲ受ケタル電信文ヲ増減變換シテ受信人其他ノ者ニ提示スルコトアリ此等ノ設例ニ於テ(一)如何ナル所爲ヲ以テ文書ノ偽造又ハ變造トシ(二)如何ナル所爲ヲ以テ偽造變造文書ノ行使トシ(三)官私文書ノ區別ハ何ニ依リテ之ヲ分ツヘキヤノ問題ヲ生ス

(一)如何ナル所爲ヲ以テ文書ノ偽造又ハ變造トスヘキヤ 行爲カ電信文配達用紙ニ記載セラレ又ハ記載セラルヘキ其モノノ上ニ行ハルルトキハ其電信文ニ偽造又ハ變造ノ行爲ノ行ハレタル時ニ於テ偽造又ハ變造ノ行爲アリトシ行爲カ頼信文ノ上ニ行ハレタルトキハ頼信文ヲ偽造又ハ變造タル時ヲ以テ偽造又ハ變造ノ行爲アリトス之ニ依リテ生シタル電信文其モノハ頼信文偽造ノ結果タリ

(二)如何ナル行爲ヲ以テ偽造又ハ變造文書ノ行使トスヘキヤ 電信文其モノニ依ル場合ハ受信局ニ於テ電信用紙ニ記載セラレタル文書カ配達セラレントスル時ヲ以テ行使ノ著手トシ受信人ニ配達セラレタル時ヲ以テ行使ノ既遂トス頼信文ニ依ル場合ハ之ヲ發信局ノ技手ニ交付シタル時ヲ以テ行使ノ著手

トシ依リテ電報カ受信人ニ到着セタル時ヲ以テ行使ノ既達トス他ハ之ニ準
シテ了解スヘシ

(三)官私文書ノ區別ハ何ニ據リテ之ヲ爲スヤ 電信文ノ官私ハ依頼シタル者ノ
資格如何ニ依リテ分ツヘキナリ官吏カ公權ヲ代表シテ發シタルモノナルト
キハ官文書、否ラナルトキハ私文書ナリ但シ電信技手カ職權ヲ以テ認ムヘキ
部分即チ電報發著ノ日時字數ノ記載等ハ常ニ官文書タリ

次ニ法律ハ文書ノ作製又ハ増減變換ヲ必要トセリ作製即チ偽造トハ新ニ文書
ヲ作り出スコト増減變換トハ一言ニテ之ヲ蔽ヘハ所謂變造又ハ變更ヲ意味ス
然レトモ各自ニ付テ之ヲ説明セハ増加トハ既存文書ニ或文字又ハ條款ヲ附加
スルコトヲ減少トハ既存文書ノ中ニ或文字又ハ條款ヲ刪除スルコトヲ變換ト
ハ増加ト減少トヲ併セ行フコト例ヘハ二百圓トアル中ノ二ノ字ヲ刪除シテ五
ノ字ヲ加ヘ以テ五百圓ト爲スカ如キコトヲ意味ス而シテ文書ノ作製又ハ増減
變換ハ之ヲ作製スルノ職權又ハ權利ヲ有スル者ノ手ニ成ルコトアリ然ラサル
コトアリ是ニ於テカ文書ノ作製又ハ増減變換ハ之ヲ爲シタル者ノ資格如何ニ

依リテ之ヲ二種ニ分類スルコトヲ得

(甲)作製ノ職權又ハ權利ナキ者ノ手ニ成リタル場合 學者之ヲ稱シテ有^〇形^〇ノ^〇偽
造ト曰フ蓋シ職權又ハ權利ナキ者カ作製ノ職權又ハ權利アル者即チ記錄者
ノ名義若クハ資格ヲ冒シテ作製スルモノナルカ故ニ所謂眞實ノ詐僞ハ文
書其モノ即チ形式ノ虛僞ニ依リテ行ハルレハナリ職權又ハ權利ナキ者カ記
錄者ノ名義又ハ資格ヲ冒シテ作製スルモノナルカ故ニ記錄者ノ名義又ハ資
格ヲ冒スト云フコトト文書ノ作製ト云フコトトノ二ヲ以テ成立ス最モ普通
ナル場合ニシテ格別説明スヘキコトナシ

(乙)作製ノ職權又ハ權利アル者ノ手ニ成リタル場合 學者之ヲ稱シテ無^〇形^〇ノ^〇偽
造ト謂フ蓋シ職權又ハ權利アル者ノ手ニ成ルモノナルカ故ニ文書其モノ
即チ形式ノ上ニ於テハ一點ノ虛構ナク所謂眞實ノ詐僞ハ之ニ依リテ表示セ
ラレタル事實ノ上ニノミ無形的ニ存スルノミナレハナリ之ヲ稱シテ偽造ト
謂フハ佛國ノ主義佛國多數學者ノ一般ニ唱道スル主義ヲ採用シタル刑法ニ
於テノミ唯ヲ首肯シ得ヘキノミ獨國ノ主義ヲ採用シタル刑法ニ於テハ決シ

ヲ了解シ得タル所タリ隨テ或一派ノ學說ノ如ク我利法ヲ以テ獨國ノ主義ヲ採用シタルモノト解スルトキハ到底是認スルコトヲ得サル點トス凡ソ法律カ文書ノ偽造ヲ罰スル所以ハ詐僞ノ證據ヲ作製シテ其提示ヲ受ケタル者ノ信用ヲ誤ラシメ以テ實害ヲ生セシムルカ故ナリ然ラハ此種ノ行爲カ文書偽造罪トシテ罰セラルルニハ其之ニ依リテ他人ヲ欺カントスル文書カ其レ自身他人ノ信用ヲ誤ラシムルニ堪能ナルモノナラサルヘカラス而テ熱ラ按スルニ本場合ノ所謂文書ナルモノハ他人ニ拘ラス之ヲ作製シ又ハ増減變換スルニ於テ犯人ノ隨意ニ作製又ハ増減シ得ヘキモノナルカ故ニ自己作製者ノ利益ノ爲メニハ勿論他人ノ利益ノ爲メニモ通常證據トシテ援用セララルヘキモノニ非ス換言セハ通常證據トシテ他人ノ確信ヲ得隨テ他人ヲ害シ若クハ自己又ハ第三者ヲ利シ得ヘキモノニ非ス然ラハ本場合ノ文書ニ於ケル事實ノ虛偽カ無形ノ文書偽造罪トシテ罰セラルルコトヲ得ルニハ有形ノ文書偽造ノ場合ト同シク他人ノ確信ヲ惹起シ隨テ害ヲ生シ得ヘキ特段ナル文書ナラサルヘカラス果シテ如何ナル場合ニ於テ右ノ如キ特段ナル性質ノ

文書トスヘキヤ原則トシテハ予ハ確信ス官公文書ハ如ク其レ自身信實ノ標準ト爲ル文書隨テ一般公衆ノ確信ヲ置カサルヘカラサル文書及ヒ官署ニ提出スヘキ諸般ノ屆書戸籍又ハ所得額ニ關スル屆書ノ如キ若クハ商法上ノ或文書商業帳簿ノ如キノ如ク公益、法律、特ニ正實ナルヘキコトヲ要求シ以テ豫メ反對ノ審査ヲ省略シタル私文書ハ何レモ反對ノ證據ノ提出セラルルマテ一應ノ證據トシテ確信セラルヘキモノナルカ故ニ舉テ右ニ所謂特段ナル文書トシ隨テ其事實ノ虛偽ハ文書偽造罪ヲ成スト謂ハサルヘカラスト然レトモ此點ニ關シ(一)官公文書ヲ除クノ外法律ハ或者ニ對シテハ特ニ多少ノ制裁ヲ設ケテ刑法ノ適用ヲ避クルニモ拘ラス類似殊ニ其レヨリモ尙ホ輕キ制裁ヲ以テ満足スヘキ他ノ者ニ對シテハ漫然之ヲ刑法ノ制裁ニ委シアリテ立法ノ趣旨一致セラルト(二)其果シテ反對ノ審査ヲ省略シタルモノナルヤ否ヤハ偏ニ法律ノ規定ニ依リテ定マルヘキモノナルニ其規定模糊トシテ判別スルコト能ハサルモノアリテ現ニ刑法ノ規定ヲ豫想シテ官公文書又ハ商業帳簿等ノ證據力ヲ定メタル舊民法證據編(商業帳簿ニ付テハ證據編第二十七

條官公文書ニ付テハ同第四十七條參看ノ母法タル佛國民法商業帳簿ニ付テハ佛國民法第千三百二十九條第千三百三十條官公文書ニ付テハ同第千三百十九條參看ニ於テモ學說紛紛其經界分明ナラサルト(三)現行民法ニ於テハ舊民法ノ如ク證據編ヲ以テ諸般ノ證據ノ效力ヲ規定スルノ迂ヲ避ケ獨國民法ニ於ケルカ如ク諸般ノ證據ハ一ニ裁判官ノ判斷ニ委スルコトト爲シ一應ノ證據ト爲リ得ヘキモノト然ラサルモノトハ法理上之ヲ區別スルコトヲ許サザルノ結果民法ト刑法トノ趣旨相衝突スルトニ據リ刑法ノ規定ハ右ノ如クニシテ荷モ官公文書ノ如ク其レ自身眞實ノ標準ト爲ルヘキ文書若クハ公益上法律カ特ニ正實ナルヘキコトヲ要求シタル文書ニ於テ其事實ヲ虛構シタル者ハ皆無形ノ文書偽造者タルヘシト雖モ疑ハシキハ輕キニ從フノ原則ニ從ヒ下ノ如ク決定セント欲ス曰ク無形文書偽造ノ規定ハ廣濶ナリト雖モ他ノ法律トノ對照上所謂文書偽造ヲ以テ罰シ得ヘキモノハ刑法中特ニ其規定ヲ設ケルモノ即チ第二百五條第二百九條第二項及第二百十五條第二項第二百十六條末段ノミナリト

(註) 縱令或學者ノ如ク廣ク無形偽造ノ適用ヲ認ムルモ一私人カ虛偽ノ言ヲ爲シ因リテ官吏公吏ヲシテ不實ノ文書ヲ作製セシムルノ行爲ヲ以テ無形偽造ノ一種ト論スルハ謬見ナリ蓋シ論者ハ此場合ニ於テ官吏公吏ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル一私人ノ器械ナリ代人ナリト主張ス然レトモ此場合ニ於テ官吏公吏ハ一私人カ其面前ニ於テ陳述ヲ爲シタルトキハ之ヲ錄取スヘシトノ法律命令ノ下ニ於テ其職權ヲ執行スルモノナリ統治ノ機關ナリ被治者タル私人豈之ヲ監視スルノ理アラシキ論者ノ說ノ如キハ公法ノ觀念ヲ缺如セラルモノナリ否縱令公法上ノ觀念ハ姑ク之ヲ措クモ其誤マ顯著ナルモノアリ何ヲ以テ之ヲ云フ曰ク無形ノ偽造ハ之ヲ作製スルノ資格アル者カ之ヲ犯スニ因リテ成立ス若シ論者ノ說ヲ以テ正當ナリトセハ人ノ子カ親ニ對スル奉養ヲ缺クニ至ルヘキコトヲ知リナカラ欺キテ其財物ヲ騙取シ因リテ之ヲシテ親ニ對スル奉養ヲ缺クニ至ラシメタルトキハ詐欺取財罪ト奉養ヲ缺タ罪トノ俱發ヲ以テ論セサルヘカラサラン之ヲ要スルニ本問ノ場合ニ於テハ其一私人ノ陳述ハ法律上眞實ナラサルヘカラサルコトヲ要スルモノニシテ其

虚偽ハ茲ニ官公文書ノ錯誤即チ虚偽ヲ結果スヘキモノナルカ故ニ明文ヲ設ケテ官公文書ノ偽造ニ準シ之ト同一ナル制裁ヲ加フルハ敢テ不當ノ立法ト謂フコトヲ得ス否事ロ其必要アルヘシト雖モ此明文ナキ我刑法ニ於テ論者ノ如ク直チニ之ヲ官公文書ノ偽造ナリト主張スルハ官公文書ノ虚偽ヲ生スルカ故ニ官公文書ヲ偽造シタルト同一ノ害惡ヲ發生セシムルモノナリト云フ害惡被害ノ點ノミヨリ推論シ遂ニ行爲ノ性質其モノヲ曲解シタルモノタリ換言スレハ其所謂一私人ノ虚偽ノ陳述ハ眞實ナラサルヘカラスト云フ法律ノ要求ニ反シテ官公吏ヲ欺キタリト謂フヘキノミ故ニ其性質ニ伴ヒタル普通ノ制裁トシテハ或ハ廣ク其虚偽ヲ罰スルカ戸籍法第二一五條參看或ハ其文書ニ依リテ行ハレタル場合ニ於テ無形ノ私文書偽造罪ヲ以テ論スヘキモノタリ(廣ク無形ノ文書偽造罪ノ主義ヲ探レハ)

第二ノ要素 事實ノ眞實ヲ偽ルコトヲ要ス(本要素ハ次ノ要素ト共ニ第四ノ要素即チ害ヲ生シ得ヘキコトノ中ニ包含セラルヘキモノニシテ畢竟其一條件ニ過キス隨テ文書偽造罪ハ本來成ハ(一)文書ヲ作製又ハ増減變換シテ之ニ依ル

コト(二)害ヲ生シ得ヘキコト(三)事實ノ眞實ヲ偽ルコト(四)文書ヲ證明セント欲スル事實ヲ偽ルコト以上所爲(三)害ヲ生セシムルノ意思アルコト(以上意思即チ佛蘭法ノ主義ニ於テ最モ主要トスル所)ノ三要素ヲ以テ成立スト説明シ本要素ハ第三要素中ニ於テ之ヲ論スルカ又ハ(一)文書ヲ作製又ハ増減變換シテ之ニ憑ルコト(二)事實ノ眞實ヲ偽ルコト(三)文書ヲ證明セント欲スル所ノ事實ニ關スルコト(四)害ヲ生セシムルノ意思アルコトノ四要素ヲ以テ成立スルモノナリト説明シ抽象的ナル害ヲ生シ得ヘキコトヲ要素ハ事實ノ眞實ヲ偽ルコト及ヒ文書ヲ證明セント欲スル如ク事實ニ關スルコトノ二要素ヲ以テ具象的ニ代表セシムルヲ以テ論理的ノ分配トスルモ本要素次ノ要素及ヒ害ヲ生シ得ヘキコトノ各點ハ何レモ特ニ注意ヲ要スヘキモノナルカ故ニ姑ク論理的ノ分配ヲ離レ相對向セシメテ説明スルコトト爲シタルノミ請フ幸ニ誤ル勿レ)

(二)法律カ文書ノ偽造ヲ罪トシ罰スル所以ハ虚偽ノ事實ヲ證明スヘキ證據ヲ發生セシメ以テ害ヲ生セシムルカ故ナリ換言スレハ證據ハ爭アル事實ヲ虚偽ニ確定シ依リテ害ヲ生セシムルカ故ナリ然ラハ文書其モノ即チ證據ト爲ルモノ

ノ形式ハ之ヲ偽ルモ若シ夫レ其文書即チ證據ニシテ眞實ニ事實ヲ表示スルモノ隨テ眞實ヲ證スルモノナランカ毫モ之ニ因リテ害ヲ受クヘキ者アルコトナシ(獨圖刑法ノ主義ヲ採用セル刑法ニ於テハ危險ノ生スヘキ文書ノ形式ヲ偽ルコト其レ自身ヲ以テ害ヲ生シタルモノナリトスルモ是レ前述ノ如ク我利法ノ採用セサル所タリ害ヲ生スルノ危險ナクンハ法律ハ之ヲ處罰スルノ實益ヲ有セス是レ本要素ノ必要ナル所以タリ(尤モ凡ソ證據ナルモノハ通常爭アル場合ニ提出セラルルモノニシテ疑ヲ斷ツノ具ナルカ故ニ爭アル場合ニ提出セラレタル證據ノ形式ノ眞正ナラサルコトカ當事者ノ自由其他ノ證據ニ據リ證明セラレタルトキハ裁判官ハ其行爲カ本罪即チ文書偽造罪ヲ構成スルヤ否ヲ決スル爲メニハ先ツ其果シテ事實ノ眞實ヲモ仍ホ之ヲ偽レルヤ否ヲ審査セサルヘカラス是ニ於テ若シ之ヲ決定スルコトヲ得タル場合ハ論ヲ要セスト雖モ眞否孰レニモ之ヲ決スルコトヲ得サルトキハ如何ニ判定スヘキカ凡ソ一般ノ推理上實質ニ於テ眞實ナルモノハ其形式ニ於テモ亦眞實ナルモノニシテ形式ノ眞實ナラサルモノハ其レ自身其實質ヲモ亦眞實ナラスト推定セサルヲ得ス隨

損スル者ニ對シテハ一箇人ハ決シテ之ニ損害ヲ加フルコト能ハス要スルニ免許トハ私法上ノ權利ヲ與ヘラレタルニ非スシテ唯公法上特別ノ能力ヲ許可セラレタルモノナルカ故ニ之ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得サルモノナリ之ニ反シテ彼ノ特權付與ノ場合ニ於テハ他ノ一箇人ニ對シ或特定ノ人ニ權利ヲ與ヘラレタルモノニシテ他人ヲ排除シテ或行爲ヲ爲スノ能力ヲ付與スルモノナリ即チ他人ニシテ其權利ヲ侵犯シタルトキハ特許ヲ受ケタル者ハ通常ノ訴訟ニ依リ之カ救済ヲ求メ得ヘシ且ツ其權利ハ私法上ノ權利ナルヲ以テ隨意ニ之ヲ讓渡シ得ヘキナリ故ニ著作權法ニ依リテ保護セラレタル興行權ノ如キハ他人之ヲ侵犯シタルトキハ通常裁判所ニ訴訟ヲ提起セテ之カ救済ヲ求メ得ヘキモノナリ

第五節 警察ト家宅侵入トノ關係

憲法第二十五條ニ曰ク「日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除ク外其ノ許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及搜索セラルルコトナシト」(普通四條五條六條七條八條九條十條十一條十二條十三條十四條十五條十六條十七條十八條十九條二十條二十一條二十二條二十三條二十四條二十五條二十六條二十七條二十八條二十九條三十條三十一條三十二條三十三條三十四條三十五條三十六條三十七條三十八條三十九條四十條四十一條四十二條四十三條四十四條四十五條四十六條四十七條四十八條四十九條五十條五十一條五十二條五十三條五十四條五十五條五十六條五十七條五十八條五十九條六十條六十一條六十二條六十三條六十四條六十五條六十六條六十七條六十八條六十九條七十條七十一條七十二條七十三條七十四條七十五條七十六條七十七條七十八條七十九條八十條八十一條八十二條八十三條八十四條八十五條八十六條八十七條八十八條八十九條九十條九十一條九十二條九十三條九十四條九十五條九十六條九十七條九十八條九十九條一百條)

抑モ家宅權トハ國家カ臣民ノ家宅安全ノ自由ヲ認メタルニ基因ス^(レ)凡^(レ)昔國
憲法第一卷^(一)故ニ英吉利ニ於テモ「我家宅ハ即チ是レ我城壁ナリト云ヘル但該ノ
第三八四頁」是故ニ警察ハ凡テ法律ニ定メタル場合ニアラサレハ臣民ノ家宅ニ侵
入シ又ハ搜索スルヲ得ス我現行法ニ於テモ家宅搜索ニ付テハ日出前日没後ハ
之ヲ爲スコトヲ得ス但シ公開ノ場所ニ付テハ其公開時間ニ限リ何時ニテモ搜
索スルコトヲ得^(七)八條第三項^(三)トアリ所謂公開ノ場所トハ旅店料理屋其他貨座
兼等夜間誰人モ出入スル場所ヲ謂フ蓋シ以上ノ規定ハ公益上ノ必要ニ出テタ
ルモノナリ何トナレハ此等ノ場合ニ於テ搜索ノ時機其宜キヲ得スシテ犯罪人
ニシテ令狀ノ執行ヲ免ルルカ如キコトアリテハ其公益上ニ及ホス影響尠カラ
ザレハナリ尙ホ安事秩序ノ必要ヨリ當該行政官廳ハ日出前日没後生命財產ニ
對シ危害切迫セリト認ムルトキ又ハ博奕密賣淫ノ現行犯アリト認ムルトキハ
現居住者ノ意ニ反シ邸宅ニ入ルコトヲ得ヘシト雖モ旅店割烹店等夜間衆人ノ
出入スル場所ニ於テハ其公開時間内ニ限リ之ニ立入ルコトヲ得ヘキナリ行政
執行法第二條左レハ從來往往地方警察規則中ニ於テ何時ニテモ又ハ隨時若ク

ハ臨時又ハ必要ト認ムルトキ等ノ規定ヲ設ケタル如キハ其當ヲ得タリト稱ス
ルヲ得サルヘシ此ニ注意スヘキコトアリ行政執行法ノ規定ハ保安警察ノ必要
上ヨリ出テタルモノナルカ故ニ司法警察權トキハ何等ノ關係ヲ有セザルナリ故
ニ例ヘハ賭博ノ現行アリト認ムルトキハ之カ行爲ヲ重キメタルノ必要ヨリ之
ヲ取締ルニ外ナラサルナリ之ヲ要スルニ原則トシテハ警察ノ力ヲ直接ニ人民ノ
行爲ニ及ホシ得ルハ公開ノ場所ニ在リトス左レハ同一ノ事件ニテモ住所内ニ
行ハルルトキハ公共ト安事ナル名稱ノ下ニ之ヲ侵スコト能ハサルナリ蓋シ住
所トハ家内ノ生活ヲ爲スノ目的ニ充テタル場所ノ全體ナリ之ニ反シテ職業ヲ
行フノ場所ハ住所ト稱スルヲ得ス故ニ製造場ノ如キモ茲ニ所謂住所ニアラサ
ルナリ

住所ニ關スル自由ハ財產ニ關スル自由ト類似セル所アレトモ是レ所有權侵害
ト全ク其趣ヲ異ニシ家内ノ平和ヲ破ルコトヲ意味スルモノナリ故ニ或學者ノ
如キモ家宅侵入ヲ以テ自體ノ自由ニ對スル犯罪ナリト看做セリ
此ノ如ク住居權ハ憲法ノ保障スル所ナリ故ニ之ニ背ク者アルトキハ刑法ニ依

リ罰セラルレタルヘカラス刑法ハ晝間故ナクシテ人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ
看守シタル建造物ニ入りタル者ニ對シ之カ制裁ヲ加ヘタリ(刑法第一七二條)
獨逸刑法ニ依ルトキハ官吏ニシテ漫ニ一箇人ノ家宅ヲ搜索シタル者ハ之ヲ處
罰スヘシトノ明文アリ(三〇一條)
抑モ拘引狀拘留狀ヲ執行スル命ヲ受ケタル巡査憲兵卒ハ被告人其家宅若クハ
他人ノ家宅ニ潛伏シタリト思料シタルトキハ其地ノ市町村長又其差支アルト
キハ隣祐二人以上ノ立會ヲ求メ面シテ後之ヲ搜索セサルヘカラス(第七八條)
一〇二條以下 蓋シ其立會人ヲ要スルト爲シタルハ財產權及ヒ家宅不侵ノ權
ヲ保護シタルニ由ルモノナリ
刑法草案ハ邸宅建造物以外ニ船舶ナル二字ヲ加ヘタリ何トナレハ船舶ハ倉庫
タリ又ハ住居タル性質ヲ有スルコトアレハナリ尙ホ現行法ノ不備ナル點ハ來
訪者アリタルトキハ正當ノ理由アリタルモ要求ヲ受ケテ退去セサル場合ノ規定
ヲ缺クヲ以テ之カ規定ヲ加ヘタリ又旅舍ノ客室ハ邸宅ノ文字ニ含ムヤ否ヤハ
頗ル議論アル所ナレトモ客室ハ邸宅内ニ存スト雖モ其性質上獨立セル一區畫

ナルヲ以テ室内ニ入ルハ邸宅侵入ト看做シ得ヘキナリ又門口ハ通常開放シテ
ルヲ以テ看守人之ヲ拒マサル以上ハ衆庶ノ出入ヲ默諾シタルモノト稱スヘキ
モ玄關ニ至リテハ諸否ヲ得テ出入スルヲ常トス是ニ於テ警察上ヨリ戸口調査
ノ性質ヲ研究スルノ必要アルナリ

戸口調査ハ從來警察ノ内規ノミヲ以テ規定シ別ニ法律命令ノ基クヘキモノナ
ク其狀恰モ警察當然ノ職權ナルカ如キ外見ヲ呈シ世人モ亦深ク之ヲ怪シマテ
ルモノノ如シ按スルニ警察上戸口調査ノ制ヲ設ケタルハ監視廳ニ於テ明治七
年始メテ東京府下ノ寄留人ヲ調査セシニ起因シ尙ホ内規ヲ以テ之カ訓令ヲ設
ケタルハ明治九年ニ始マリ爾來各府縣ニ於テモ之ニ倣ヒ戸口ノ異動ヲ調査ス
ルノ慣習ヲ馴致セリ然ルニ明治三十二年七月內務省令第三十二號ハ其第九條
ニ於テ旅店主其他營業ニ依リ其廳府縣令所定ノ事項其他本人家族寄寓者等ニ
關シ警察官吏ノ尋問ヲ受ケタル者ハ之ニ答フヘシ云云ト規定シ從來戸口調査
ノ方法ハ全ク便宜ノ取扱ニ屬シ尋問ニ對スル答辯ニ對シテハ之ヲ強行スルノ
途ナカリシモ該法ニ於テハ宿泊居其他ノ件ニ限り之ヲ明文ヲ以テ規定スルニ

至レリ

此ノ如ク警察官吏カ警察上ノ必要ヨリ定時若クハ臨時ニ家宅ニ臨檢シ戸口ノ調査ヲ爲スハ憲法上果シテ抵觸スルコトナキヤ否ヤ是レ頗ル研究スヘキ問題ナリ憲法第二十五條ノ所謂法律ノ規定ナク許諾ナクシテ住所ニ入ルコトヲ得ストハ戸口調査ノ場合ニ於テハ之ヲ除外例ナリトスルコトハ到底其當ヲ得タルノ解釋ナリ又此等ハ暗黙上承諾アリタリトスルモ若シ家人ニシテ拒ミタルトキハ如何警察ハ遂ニ其職責ヲ盡スヲ得タルニ至ルヘシ

現今實際上戸口調査ノ方法ハ形式ニ止マリ其效力豫想ノ外ニ出ツルノ感ナシトモス況ヤ警察ノ偵察ハ警察官吏カ正服ヲ著レ戸口ヲ調査スルカ如キ外形ニ由リテ實況ヲ審ニセラルヘキモノニ非ス故ニ今日ニ於テ戸口調査ノ方法ヲ改ムルハ寧ろ時世ニ適合セルモノナリト思惟ス然レトモ被監視人ノ如キ警察ニ於テ當然注目ヲ要スヘキ者ニ對シテハ法律ノ規定ニ依リ警察官ニ於テ必要ト思料スル場合ニ於テハ何時ニテモ其家宅ニ就キ搜索及ヒ物件差押ヲ爲スコトヲ得ルノ規定ヲ設クルカ如キハ最も必要ナリ尙ホ刑法草案第二十二條ノ如ク監

視ノ效果中ニ犯罪ノ地及ヒ被害者所在地ノ警察官廳ハ被監視人ニ對シ其管轄地ノ全部又ハ一部ニ住居シ又ハ立入ルヲ禁スルヲ得ルト定メタルカ如キハ畢竟保安條例ト同一ノ精神ニテ犯罪地又ハ被害者所在地ヘ被監視人ノ立入ルコトヲ禁スル權限ヲ警察官廳ニ付與シタルモノニシテ別ニ戸口調査ノ方法ヲ設ケタルモ警察官ハ特ニ此ノ如キ刑法ノ規定アルカ爲メ相當取締ノ實行ヲ期シ得ラルヘキナリ然レトモ果シテ此ノ如キ現行ノ戸口調査方法ヲ廢止スルトキハ警察ハ必要上之ニ代フルニ命令ヲ發布シ更ニ何人ト雖モ或町村ニ滯留セントスル者ハ警察官廳ニ其身分ニ付キ必要ノ届出ヲ爲サシメ尙ホ新ニ轉住シ來ルル者並ニ住宅若クハ止宿ヲ與フル者ニモ届出ヲ爲サシムルノ義務ヲ負ハシメ犯ス者ニ對シテハ相當ノ制裁ヲ附スヘキナリ然レトモ今若シ假ニ此ノ如キ法規ヲ設クルトスルモ臣民ニシテ警察ニ届出ヲサルトハ臣民ハ之カ爲メニ居住權ヲ失ヒタルニ非スシテ警察側ノ適用ハ獨リ警察ノ必要ヨリ生シタル一種ノ行政處分タルニ外ナラサルヘシ

論者或ハ寄留届其他住居ニ關シ現行法ノ場合ニ於テ町村長ニ届出ノ義務アル

故ニ故ラニ警察官廳ニ届出ノ必要ナシト言フ者アランナレトモ警察官警察ノ
機能ニ由リ其必要ニ應ジ警察法規ヲ以テ之カ届出ヲ爲サシムルハ町村ニ於テ
之ヲ行フト全ク其趣旨ヲ異ニスルカ故ニ毫モ牴觸スル所アラサルナリ
之ヲ要スルニ戸口調査其他租稅徵收等行政上ノ行動ノ爲メニ家宅ニ侵入スル
ハ均シク是レ法律上ノ基礎ヲ要スヘキモノニシテ今日ノ如キ法律上ノ基礎ナ
キ場合ハ人民ハ強テ警察官ノ門内ニ入ルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ヘキナリ

第十四章 警察法ト刑法トノ關係

刑事犯及ヒ警察犯ノ區別ハ古來學者間ニ於テ所説ヲ異ニシ學說區區ニシテ一
定セス今左ニ其重ナル者ヲ掲ケン

第一説ハ刑事犯トハ主觀的權利ノ毀損セララル場合ヲ謂ヒ警察犯トハ一般ノ
利益ヲ毀損セララル場合ヲ謂フ此見解ハ前世紀ニ於テ行ハレタルモノニシ
テフオイエルバハ氏ヲエヒタル氏等モ之ヲ傳唱ス

第二説ハ刑事犯トハ毀損ニ付テ之ヲ謂ヒ警察ノ場合ニ於テハ危害ヲ意味スト

此説ハ「グロームマン氏」「ゼーゲル氏」「メルケル氏」等ノ唱フル所ナリ
第三説ハ警察犯トハ行爲ノ何物タルニ關セスシテ警察法規ニ反シテ處罰セラ
ルモノヲ謂フ

第四説ハ刑事犯トハ實質的意義ノ存スルモノヲ謂ヒ警察犯ノ場合ニハ唯權利
毀損ナル形式の意義ヲ有ス此説ハ「フリーゴーマイエル氏」ノ唱フル所ナリ

右ノ所説中第四説ハ最モ法理ニ適シタル見解ニシテ警察官ハ損害賠償ト性質
ヲ同シクシ刑罰ハ權利ノ侵害ヲ惹起スル場合ニ於テ存ス而シテ損害賠償ハ猶
ホ創痍ヲ癒スルカ如ク刑罰ハ猶ホ犯罪者ニ創痍ヲ打撃スル目的ノ爲メニ供セラ
ルルカ如シ蓋シ依リテ以テ法序ヲ維持センカ爲メナリ（フリーゴーマイエル氏千
一四年國選刑法教科書第二五〇頁第二五九頁）

警察法ヲ以テ刑法ト同一視シ違警罪ノ判決ヲ以テ輕罪重罪等ト同一ノ性質ヲ
有スルモノナリト認メタルハ陳腐ノ學說ナリ「バルエル氏」ノ如キモ警察ヲ以テ
國家カ犯罪ヲ禁スル方法中ニ算入セリ然レトモ違警罪ノ物タル刑法ニ於テ一
箇人ノ罪ヲ處斷スルト全ク其性質ヲ異ニシ又此ニ其意思ヲ問フノ必要アラサ

ルナリ然ルニ我刑法第八十三條ニ於テハ「違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ滿タル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルコトヲ得」ト言ヒナカラ滿十二歲以上十六歲ニ滿タル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減シ十二歲ニ滿タル者及ヒ屠販者ハ其罪ヲ論セスト云フカ如キハ其當ヲ得タリト謂フヘカラス何トナレハ既ニ其意思ヲ問ハサル以上ハ年齡ニ由リ處分ニ輕重アルヘキ謂レナシ現ニ獨斷ノ如キハ他人ノ犯セル警察罰ヲ已レ代リテ之ニ任スルコトヲ得ルモノトス左レハ警察命令ニ違背シタル者ヲ警察官ノ告訴ニ由リ裁判所ニ於テ之ヲ處罰スルハ是レ猶ホ民法上ノ毀損セラレタル權利ヲ回復スルノ訴訟ト其性質ヲ同シクシ唯法序ヲ破リタルコトヲ補正スルコトヲ以テ目的ト爲スモノナリ例ヘハ違警罪ヲ以テ喧嘩口論ヲ爲スヘカラスト規定スル所以ハ若シ人民ノ爭論ニ任セテ之ヲ制止セサルトキハ國家ノ法序ハ遂ニ保難セラレサルニ至ルヘシ又例ヘハ火災警察ノ如キモ違警罪ヲ以テ之ニ制裁ヲ加ヘサルトキハ公衆ノ安寧ヲ維持スルニ至ラサルヘシ違警罪ノ性質既ニ此ノ如シ左レハ我國現行法ノ如ク刑罰ノ輕重ニ依リ之ヲ區別スルハ其當ヲ得タリト謂フヘカラス我現行法ニ依

レハ刑罰ノ輕重ニ由リ違警罪ヲ區別シテ左ノ五種トセリ

- 第一 三日以上十日以下ノ拘留又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料(刑法第八四條第二五條四)
- 第二 二日以上五日以下ノ拘留又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料(刑法第八四條第二六條四)
- 第三 一日以上三日以下ノ拘留又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料(刑法第八四條第二七條)

- 第四 一日ノ拘留又ハ十錢以上一圓以下ノ科料(刑法第八四條第二八條四)

- 第五 五錢以上五十錢以下ノ科料(刑法第八四條第二九條四)

刑法ト警察法トハ其性質ノ異ナルコト此ノ如シ左レハ今之ヲ同一ノ法典中ニ掲クルハ其當ヲ得タリト謂フヘカラス
論者或ハ説テ爲シテ曰ク警察ハ危險ヲ除去スルヲ以テ目的ト爲ス而シテ所謂危險ナルモノハ千變萬化豫メ之ヲ定ムルヲ得ス左レハ如何ニ完全ナル刑法ト雖モ危險ノ所爲ヲ列記シ盡スハ到底不能ノ事タリ是ニ於テカ其危險ノ所爲ヲ刑法ニ列記セスシテ行政法律ヲ以テ行政機關ノ職權ヲ定ムルノ必要ヲ生スト予輩ノ論スル所ニ據レハ縱令刑法ニ於テ危險ノ所爲ヲ列記シ得ルトスルモ警

察ト刑罰トハ其性質根本ヨリ異ナレルヲ以テ之ヲ刑罰トシテ刑法ニ掲タルハ誤レリト云フニ在リ左レハ今輕罪、重罪ノ性質ヲ有スヘキ犯罪ヲ違警罪トシテ處分シ或ハ毒殺罪ノ豫備ヲ罰センカ爲メニ違警罪ヲ設クル如キハ實ニ不當ノ甚シキモノナリ然レトモ保安警察ノ目的ノ爲メニ夜間刀劍ノ賣買ヲ禁スル如キニ至リテハ之ヲ其當ヲ得タルモノナリト謂ハサルヘカラス之ヲ要スルニ刑法ニ稱スル未遂犯ト警察權ノ干涉スヘキ危險ナル所爲トノ區別ハ何レノ所ニ於テ存スルヤト云フニ未遂犯モ危險ナル傾向ヲ有スルノ點ニ至リテハ同一ナリ然レトモ未遂犯ハ犯罪ヲ爲ス意思アルトキニ生スルモノニシテ警察ノ場合ニ於テハ其意思ナキモ仍ホ生スルコトアリ未遂犯ハ刑罰ニ屬スルモ違警ヲ處罰スルハ行政ノ處分ナリ

「スタイン」氏ハ違警罪ト他ノ刑罰トノ區別ヲ論シテ曰ク警察處分ノ主旨ト刑罰トノ關係トハ次ノ點ニ於テ全然異ナル所アリ(第一警察處分ニ於テハ意思ハ問フ所ニ非サルモ刑罰ニ於テハ之ヲ探究セサルヘカラス)(第二警察處分ハ判決ヲ要セス執行ニ由リテ始マル是レ亦刑罰ト異ナル點ナリ)(第三所謂執行トハ官命ヲ

遵奉セシムルコトヲ以テ目的ト爲スカ故ニ執行ノ效力ハ極端ノ場合ニ於テハ之ヲ威力ニ訴フルコトヲ得之ニ反シ刑罰ハ一定不動ノ性質ヲ有ス第四警察ニ於テハ警察官ノ命令ニ遵據セサル事實ヲ探究スルニ在ルノミ故ニ其行為ヲ知ル者ハ唯リ警察官ニシテ警察機關ニ由ルニ非スシテ之ヲ證明スルハ殆ト稀ナリ而シテ被告人ハ自ラ爲セル行為ニ付テハ自ラ證人ナリト云ハサルヘカラス是レ刑罰ト大ニ其趣ヲ異ニスル所以ナリ(「スタイン」氏行政法卷ノ一)

我邦ニ於テモ刑法中ニ違警罪ヲ加ヘタルハ全ク之ヲ輕罪、重罪ト同一視シタルニ職由セスシハアラス刑法第百一條ヲ見ルニ違警罪ヲ二罪以上俱ニ發シタルトキハ各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタルトキハ一ノ重キニ從フト蓋シ此末項ノ規定ハ之ヲ刑罰ト認ムルヨリ生スル結果ナリ又再犯加重ニ付テハ第九十三條ニ規定アリ蓋シ此ノ如ク我國ニ於テ違警罪ヲ刑法中ニ規定セルハ歷史上理由ノ存スル所ニシテ余ハ今其由リテ來ル所ヲ説明セントス

法律ニ由ルニアラサレハ處罰スルヲ得ストハ佛國ニ於ケル有名ナル原則ナリ

我邦ニ於テハ刑法第四百二十五條以下ニ於テ違警罪ヲ列舉シ第四百三十條ニ於テハ前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ストノ規定ヲ設ケタリ然ルニ此條ヲ以テ地方廳ノ違

警察法
警察法卜刑法卜ノ關係

ニ明治十四年八月太政官達第七十七號ヲ以テ刑法第四百三十條ニ由リ各地方ノ便宜ニ從ヒ違警罪目ヲ定メ之ヲ發行セシトキハ主務省ニ開申セシムルノ公達アリシヲ以テ刑法第四百三十條ヲ以テ地方廳ニ違警罪ヲ設クルノ權ヲ規定セラレシモノト認メタルニ似タリ

刑法ニ規定セル違警罪ト地方ノ違警罪トノ關係ヲ見ルニ若シ地方官署ニシテ刑法ト異ナリタル刑罰ヲ設ケ或ハ同一ナル刑ヲ設ケタルトキハ地方規則ノ規定ハ即チ無効ナリ故ニ裁判官ハ刑法ノ正條ヲ適用シテ地方規則ハ之ヲ無視シ得ヘキナリ蓋シ刑法第四百三十條ハ刑法ニ規定セタル以外ノ事項ニ關スル地方違警罪ノミヲ認ムルニ過キヌ又地方官廳ニ於テ一ノ規則ヲ設クルニ當リ其制裁ニシテ既ニ明示シタルモノナルトキハ其規則ハ刑法ノ制裁タルコトハ自明ノ理ナリ然ルニ往往地方ノ縣令中此規則ニ違背シタルモノハ刑法第何條ニ由リ處罰セラルヘシトノ一條ヲ設クルコトアリ是レ一見充足ニ似タルノ感ナキニアラスト雖モ是レ亦其必要ナキニアラサルナリ例ヘハ刑法第四百二十六條第四項ニ於テ健康ヲ保護スル爲メニ設ケタル規則ニ違背シタル者ノ處罰ヲ

校外生規則摘要

講義録ハ各部毎月二回發行シ滿一個年ヲ以テ卒業トス

一個年ヲ以テ完了セサルトキハ號外ヲ發ス講義録ハ之ヲ三部ニ分ツ其發行定日左ノ如シ

第一部 毎月 五日 二十日

第二部 毎月 十日 廿五日

第三部 毎月 十五日 三十日

月謝金ハ全部査閱、各一部四十錢トス但シ入學金ヲ要セス

校外生ハ本校講議會、討論會ニ出席傍聽スルコト及ヒ本校ノ出版ニ係ル書籍雜誌ハ特別ノ廉價ヲ以テ購求スルコトヲ得

校外生全部卒業證書ヲ有スル者ハ試験ノ上校

内生三年級ニ編入セラルコトヲ得

校外生ハ講義録中ノ疑義ニ付キ質問スルコトヲ得問題ハ一問毎ニ別紙ニ認メ且一問毎ニ返

信用郵券ヲ封入スルコトヲ要ス

三个月以上月謝不納ノ者ハ退學者ト看做ス

月謝ハ東京飯田町郵便支局拂和佛法律學校會

計保宛トスヘシ

明治廿二年十二月九日 内務省許可

明治三十四年二月廿五日印刷

明治三十四年二月廿八日發行

東京市四谷區四谷中町三丁目三十八番地

編輯者 小田 幹治 郎

東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

印刷者 金子 鐵五 郎

東京市芝區西ノ久保明舟町十一番地

印刷所 金子 活版 所

東京市總町區富士見町六丁目十六番地

發行所 司法省 指定 **和佛法律學校**

(電話番町百七十四番)